

正校

古事記

上

津田文庫
文庫 1
1782
1



明治八年四月上梓

校正
古事記

徳川氏蔵版

1982



校正古事記序
 石上之古事記の序を
 撰定し、皇太子飛鳥の海
 河原の大宮を天の下
 志海に、天皇思ひ



たし陰ひく太古の語を
得し武の古言を禮
らる神の大神の
良神の神の舎人
禊田の神の浦の

す勢の神の神の
代の神の神の神の
神の神の神の神の
神の神の神の神の
神の神の神の神の
神の神の神の神の

この後ひしひと
新皇國の右の
中より
備へ
石を

し

明治九年一月

後任徳川慶勝

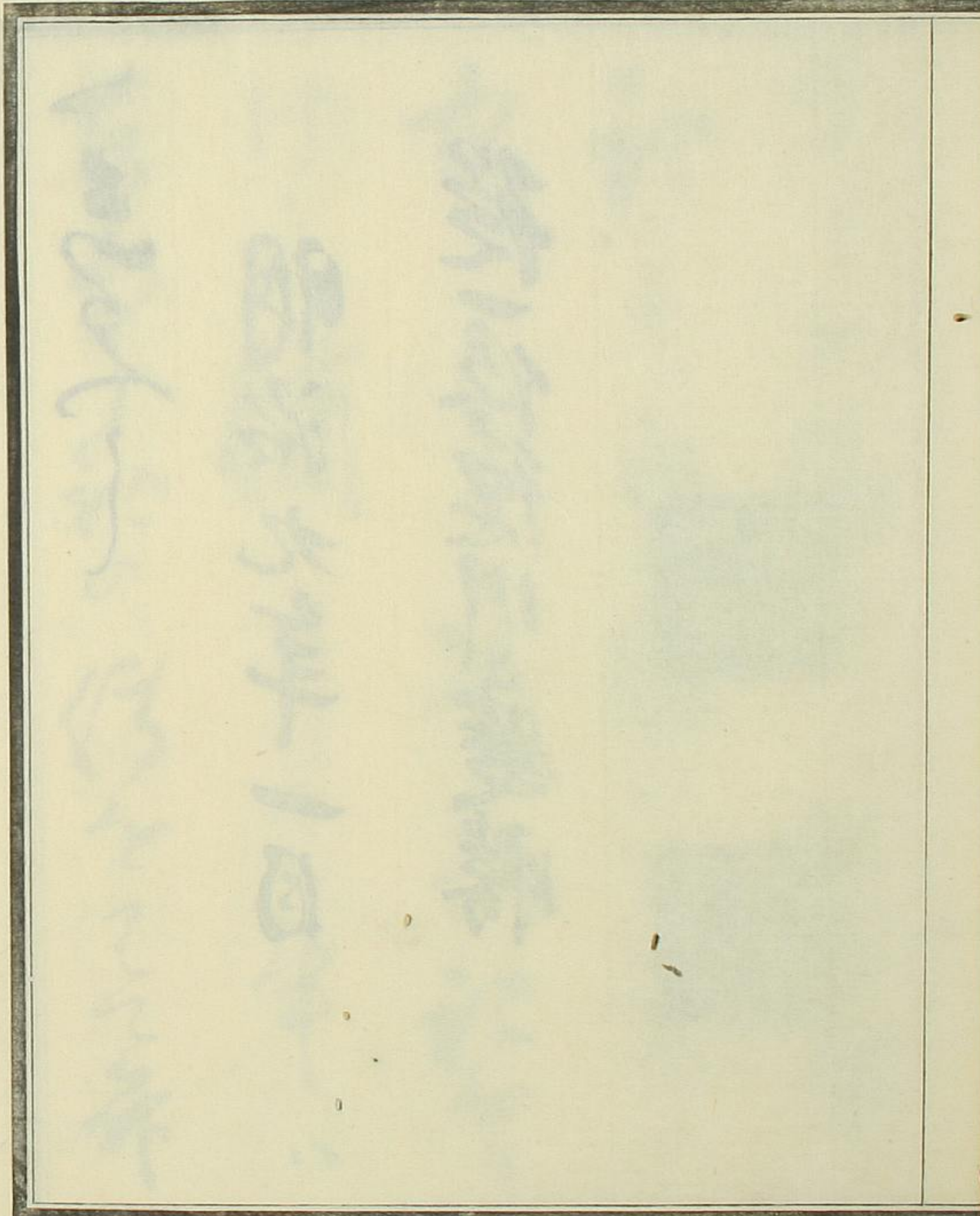


古事記上卷并序

臣安萬侶言。夫混元既凝。氣象未效。無名無為。誰知其形。然乾坤初分。參神任造化之首。陰陽斯開。二靈為羣品之祖。所以出入幽顯。日月彰於洗目。浮沈海水。神祇呈於滌身。故太素杳冥。因本教而識孕土產。嶋之時。元始綿邈。賴先聖



古事記序



而察生神立人之世。寔知懸鏡吐珠。而百王相續。嚙劍切蛇。以萬神蕃息。與議安河而平天下。論小濱而清國土。是以番仁岐命。初降于高千嶺。神倭天皇。經歷于秋津島。化熊出爪。天劍獲於高倉。生尾遮徑。大鳥導於吉野。列儻攘賊。聞歌伏仇。即覺夢而敬神祇。所以稱賢后。

望烟而撫黎元。於今傳聖帝。定境開邦。制于近淡海。正姓撰氏。勒于遠飛鳥。雖步驟各異。文質不同。莫不稽古。以繩風猷。於既頽照。今以補典教。於欲絕暨飛鳥。清原大宮。御大八洲。天皇御世。潛龍體元。游雷應。期間夢歌。而想纂業。投夜水而知承基。然天時未臻。蟬蛻於南山。

人事共洽。庠步於東國。皇輿忽駕。凌渡山川。六師雷震。三軍電逝。杖矛舉威。猛士烟起。絳旗耀兵。凶徒瓦解。未移浹辰。氣冷自清。乃放牛息馬。愷悌歸於華夏。卷旌戢戈。儻詠停於都邑。歲次大梁。月踵夾鍾。清原大宮。昇即天位。道軼軒后。德跨周王。握乾符而摠六合。得天統而

包八荒。乘二氣之正。齊五行之序。設神理以獎俗。敷英風以弘國。重加智海。浩瀚潭探。上古心鏡。煒煌明覩。先代於是天皇。詔之朕聞。諸家之所貴。帝紀及本辭。既違正實。多加虛偽。當今之時。不改其失。未經幾年。其旨欲滅。斯乃邦家之經緯。王化之鴻基焉。故惟撰錄帝紀。討

數舊辭削偽定實欲流後葉時有舍人
姓稗田名阿礼年是廿八為人聰明度
目誦口拂耳勒心即勅語阿礼令誦習
帝皇日繼及先代舊辭然運移世異未
行其事矣伏惟皇帝陛下得一光宅通
三亭育御紫宸而德被馬蹄之所極坐
玄扈而化照船頭之所逮日浮重暉雲

散非烟連柯并穗之瑞史不絕書列烽
重譯之貢府無空月可謂名高文命德
冠天乙矣於焉惜舊辭之誤忤正先紀
之謬錯以和銅四年九月十八日詔臣
安萬侶撰錄稗田阿礼所誦之勅語舊
辭以獻上者謹隨詔旨子細採撫然上
古之時言意並朴敷文構句於字即難

古事記序

四

已因訓述者。詞不逮心。全以音連者。事
趣更長。是以今或一句之中。交用音訓。
或一事之內。全以訓錄。即辭理叵見。カタキハ以
注明意况。易解更非注。亦於姓。日下。謂
玖沙訶。於名帶字。謂多羅斯。如此之類。
隨本不改。大抵所記者。自天地開闢。始
以訖于小治田。御世。故天御中主神。以

下。日子波限建鷄草葺不合尊。以前為
上卷。神倭伊波禮毘古天皇以下。品陀
御世以前為中卷。大雀皇帝以下。小治
田大宮以前為下卷。并錄三卷。謹以獻
上。臣安萬侶。誠惶誠恐。頓首頓首。

和銅五年正月二十八日。正五位上
勳五等太朝臣安萬侶。

天地初發之時於高天原成神名天之
 御中主神訓高下天云次高御產巢日
 神次神產巢日神此三柱神者並獨神
 成坐而隱身也次國稚如浮脂而久羅
 下那洲多陀用幣琉之時琉字以上如
 葦牙因崩騰之物而成神名宇麻志阿
 斯訶備比古遲神此神名次天之常立

神訓常云登許此二柱神亦並獨神成
 坐而隱身也
 上件五柱神者別天神
 次成神名國之常立神訓常立次豐雲
 上野神此二柱神亦獨神成坐而隱身

也次成神名字比地迹上神次妹須比
 智迹去神此二神次角杙神次妹活杙

古事記上

六

神カミ。二ツギニ。次オホ。意ト。富ノ。斗カミ。能ツギニ。地イモ。神オホ。次ト。妹ノ。大カミ。斗ツギニ。乃イモ。弁オホ。
 神カミ。此ツギニ。二オホ。神ト。名ノ。次ツギニ。淤オホ。母モ。陀ダ。琉ル。神カミ。次ツギニ。妹ツギニ。阿イ。夜ヤ。
 上カミ。訶カ。志シ。古コ。泥ネ。神カミ。此ツギニ。二オホ。神ト。名ノ。次ツギニ。伊イ。邪サ。那ナ。岐ギ。
 神カミ。次ツギニ。妹イモ。伊イ。邪サ。那ナ。美ミ。神カミ。此ツギニ。二オホ。神ト。名ノ。亦ナ。
 上カミ。件ケン。自ジ。國クニ。之ノ。常トコ。立タチ。神カミ。以ヨ。下シタ。伊イ。邪サ。那ナ。美ミ。
 神カミ。以ヨ。前マヘ。并ナラ。稱ナ。神カミ。世ヨ。七ナナ。代ト。各オノ。云クニ。一ヒト。代ト。次ツギニ。
 神カミ。一ヒト。代ト。也ナリ。

於コ。是ニ。天アマ。神ツカミ。諸モロクノ。命ミコト。以モチテ。詔イリ。伊イ。邪サ。那ナ。岐ギ。命ミコト。伊イ。邪サ。
 那ナ。美ミ。命ミコト。二フタ。柱ハシラ。神カミ。修ツク。理クリ。固カタ。成メ。是コノ。多タ。陀ダ。用ヨ。幣ヘ。
 流ル。之クニ。國タマヒテ。賜アマノ。天ヌ。沼ホコラ。矛コト。而ヨサシ。言タマヒキ。依カレ。賜フタ。也ハシラノ。故ニ。柱カミ。
 神カミ。立タシテ。訓レテ。立ラ。云ニ。天アマノ。浮ウキ。槁ハシニ。而サシ。指オロシテ。下ソノ。其ヌ。沼ホコラ。矛カキ。以ナシ。
 畫カキ。者タマヘバ。鹽シホ。許シホ。袁シホ。呂シホ。許シホ。袁シホ。呂シホ。迹シホ。此ツギニ。七ナナ。字ナシ。畫カキ。鳴ナシ。
 訓レテ。鳴ラ。云ニ。而テ。引ヒキ。上ゲ。時タマフ。自ヨリ。其ソノ。矛ホコノ。末サキ。垂シタ。落タル。之シホ。鹽シホ。
 那ナ。志シ。而テ。引ヒキ。上ゲ。時タマフ。自ヨリ。其ソノ。矛ホコノ。末サキ。垂シタ。落タル。之シホ。鹽シホ。
 累コリ。積シテ。成ナル。嶋シマト。是コレ。淤オノ。能ノ。碁ゴ。呂ロ。嶋シマナリ。自シマナリ。淤オノ。以ヨ。下シタ。於ニ。
 古事記上 七

ソノシマアモリマシテ。ミタテアメノミハシララ。ミタタマキヤ
 其嶋天降坐而見立天之御柱見立八
 ヒロドノラコ、ニトヒタマハソノイモイザナミノミコトニ。ナガミ
 尋殿於是問其妹伊邪那美命曰汝身
 ハイカニナレト。マラシタマヒキアガミ。ハナリクテザルナリ。アハトコロ
 者如何成答曰吾身者成不成合處
 ヒト、コロアリトコ、ニイザナギノミコトノリタマヒクアガミ。ハナリナリ
 一處在尔伊邪那岐命詔我身者成
 テナリ。アハレトコロ。ヒトトコロ。アリ、カレ。コノアガミノナリ。アハレトコロ
 而成餘處一處在故以此吾身成餘處
 サシフタギテナガミノザルナリ。アハトコロニ。オモフハウミナサトク
 刺塞汝身不成合處而以為生成國土
 イカニトシタマヘバ。訓生云字。伊邪那美命答曰然善。
 奈何。牟下效此。

コ、ニイザナギノミコトノリタマヒキカラバ。アトトナエキメグリアヒテ
 尔伊邪那岐命詔然者吾與汝行迴逢
 コノアメノミハシララ。○セナトミトノノハヒ。ハヒ。此
 是天之御柱而為美斗能麻具波比。此
 字以如此云期乃詔汝者自右迴逢我
 ハヨリヒダリメグリアハムト。チキリラヘテ。メグリノストキニイザナギノミコト
 者自左迴逢約竟以迴時伊邪那美命
 マツノリタマヒ。ア。ナ。ニ。ヤ。シ。エ。ラ。ト。コ。ラ。ト。此十
 先言阿那迺夜志愛上表登古表。此十
 音下。後伊邪那岐命言阿那迺夜志愛
 效此。上表登賣表。各言竟之後告其妹曰女
 ノチニイタヒキソノイモニ。ラミ

古事記上

八

ナラ サキダチテコト ズトフサハドモシカレク 人先言不良。雖然久美度迹 此四字 興 オコシ
テ ウミタマヒキミコヒル ゴラコノミコ 而生子水蛭子。此子者入葦船而流去 ナガシステツ
ツギニウミタマヒキアハシマラ コモズ 次生淡嶋是亦不入子之例。於是二柱 カズニハコトニ
カミ ハカリタマヒツラクイマアガウメリシ 神議云。今吾所生之子不良。猶宜白天 フサハナホベシトリタマヒテマツ
カミ モトニスナチトモニマキノボリテコトタマヒキアマツカミ 神之御所即共叅上請天神之命。尔天 ミコトヲコトニアマツ
カミ ノミコトモチテフ 神之命以布斗麻迹尔 上此五 相而 ウラヘテ
ノリタマヒツラクヨリテラミナラ サキダチニコト 詔之。因女先言而不良。亦還降改言。故 ズフサハマタカヘリクダリテマツタイドイタマヒキカレ

スナハチカヘリクダリマシテサラニユキ メダリタマヒキカノアメノ 尔反降更往迴其天之御柱如先。於是 ハシララゴトサキノコトニ
イザ ナギノミコトマツノリタマヒ 伊邪那岐命先言阿那迹夜志。愛表登 ヤシエ
メ ヲトノチニイモイ 賣表後妹伊邪那美命言阿那迹夜志 ナニヤシ
エ ヲト 愛表登古表如此言竟而御合生子淡 アヒミシテウミタマヒキミコアハ
デ ホ 道之穗之狭別嶋 訓別云和 次生伊豫 ツギニウミタマヒキイヨ
ノ フタ 之二名嶋。此嶋者身一而有面四。每面 オモヨツゴトニオモ
アリ ナカレ 有名。故伊豫國謂愛 上 比賣 此三字 以 此
イ ヨノクニライヒ 有 上 故伊豫國謂愛 上 比賣 此三字 以 此

古事記上

九

也讚岐國謂飯依比古粟國謂大宜都
 比賣此四字土左國謂建依別次生隱
 伎之三子嶋亦名天之忍許呂別許呂二字
 以次生筑紫嶋此嶋亦身一而有面四
 每面有名故筑紫國謂白日別豐國謂
 豐日別肥國謂建日向日向國謂豐久
 士比泥別自久至熊曾國謂建日別曾字

以次生伊伎嶋亦名謂天比登都柱自
 至都以音ツギニウミタフイ次生津嶋亦名謂天之狭手
 訓天如天次生津嶋亦名謂天之狭手
 依比賣次生佐度嶋次生大倭豐秋津
 嶋亦名謂天御虚空豐秋津根別故因
 此八嶋先所生謂大八嶋國然後還坐
 之時生吉備兒嶋亦名謂建日方別次
 生小豆嶋亦名謂大野手上比賣次生

市事記上

十

オホシマラ。マタノナハイフオホタマ
 大嶋亦名謂大多麻上流別ワケト自多至ツギニ次
ウミタマフヒメジマラマタノナハイフアメヒトツネト
 生女嶋亦名謂天一根訓天ツギニウミタマフチ次生知訶カノ
シマラマタノナハイフアメノオシラトツギニウミタマフタゴノシマラマタノナハ
 嶋亦名謂天之忍男次生兩兒嶋亦名
イフアメフタヤトヨリ吉備兒嶋至天スデニウミクニララヘテ
 謂天兩屋サラニウミスカミラカレウミセルカミミナハオホコトオシラノカミツギニウミシイハ
 更生神故生神名大事忍男神次生石
ツチビレコノカミラ訓石ラ云ニ伊波ト亦毗古ツギニウミマシイハ
 土毗古神スヒヒメノカミラツギニウミマシオホト次生石
スヒヒメノカミラツギニウミマシオホト別神次生天之
 巢比賣神次生大戸日別神次生天之

フキ吹上ヲノカミラツギニウミマシオホヤ毗古神次生風木
ツツ津別之忍男神訓風云ニ加邪ツギニウミマシワタノカミラ次生海神
ミナハオホワタツ名大綿津見神次生水戸神名速秋津
ヒコノカミツギニイモ日子神次妹速秋津比賣神自大事オホコト忍オシ
津比賣神此速秋津日子速秋津比賣
フタハシラノカミヨリテカハウミニモチワケラウミセルカミミナハアワナギノカミ
 二神因河海持別而生神名沫那藝神
音下效此那藝二字以次沫那美神音下效此那美二字以

古事記上

十一

鳥之石楠船神亦名謂天鳥船次生大
トリノイハクスブネノカミマタノミナハマラスアメノトリフネトツギニウミマシオホ
 宜都比賣神此神名次生火之夜藝速
ゲツヒメノカミラ。此神名ツギニウミマスヒノマギハヤ
 男神夜藝二字亦名謂火之炫毗古神亦
ヲノカミラ。夜藝二字マタノミナハイヒヒノカバビコノカミトマタノ
 名謂火之迦具土神迦具二字因生此子
ミナハイフヒノカグツチノカミト。迦具二字ヨリテウミマスニコノミコラ
 美蕃登此三字見炙而病臥在多具理
ミホト。此三字エヤカテヤミコヤセリ。タグ
 迹此四字生神名金山毗古神訓金山云
ニ。此四字ナリセルカミミナカナヤマビコノカミ。訓金山云
 次金山毗賣神此次於屎成神名波迹
ツギニカナヤマビメノカミ。ツギニニクツナリセルカミミナハ

夜須毗古神此神名次波迹夜須毗賣
ヤスビコノカミ。此神名ツギニハニヤスビメノ
 神此神名次於屎成神名弥都波能賣
カミ。此神名ツギニニユマリナリセルカミミナハツツハノメノ
 神次和久産巢日神此神之子謂豐宇
カミツギニワクムスビノカミ。此神ノミコラマラストヨウ
 氣毗賣神自宇以下故伊邪那美神者
ケビメノカミト。自宇以下カレイザナカミハ
 因生火神遂神避坐也自天鳥船至豐
ヨリテウミセルヒノカミラツビニカムサリマシヌ。自天鳥船至豐
 神八
 凡伊邪那岐伊邪那美二神共所生
スベテイザナギイザナミフタヒシラノカミトモニウミセル

嶋壹拾肆嶋神冬拾伍神シマトヲマリヨシマカミシノヂマリイツハシラコハカミイサキニウミセリナリウミセリナリタビオノミカモトスナチハラ
 故尔伊邪那岐命詔之愛我那迹妹命カレコニイサキニウミセリナリウミセリナリウミセリナリウミセリナリウミセリナリウミセリナリ
 乎ヤ那迹ナト二字以ニ謂易子之一木乎乃ハ匍ハ
 匍御枕方ハ匍御足方而哭時於御淚ハ
 所成神坐香山之畝尾木本名泣澤女ナリマセルカミハスカグヤノウネヲノモノトニナハナキサハメ
 神故其所神避之伊邪那美神者葬出カミカレソノカムサリマシイサキナミノカミハカクミツキイツ

雲國與伯伎國堺比婆之山也於是伊モノクニトノハキノクニサカヒヒバノヤマニコハニイ
 邪那岐命ガナギノミコトマキテミハカセル拔所御佩之十拳劍斬其子ツカツルギヲキリタフソノミコ
 迦具土神之頸カグツチノカミノミクビラコニツケルソノミハカシノサキニチタシリ尔著其御刀前之血ニ走チ
 就湯津石村ツキテユツイハムラニナリマセルカミミナハイハサクノカミツギニネサクノ所成神マセルカミミナハイハサクノカミツギニネサクノ名石拆神次根拆ミナハイハサクノカミツギニネサクノ
 神次石筒之男神カミツギニイハツノヲノカミツギニツケルミハカシノモトニチモ次著御刀本血亦ツギニツケルミハカシノモトニチモ
 走就湯津石村タシリツキテユツイハムラニナリマセルカミミナハイハサクノカミツギニ所成神マセルカミミナハイハサクノカミツギニネサクノ名甕速日神次ミナハイハサクノカミツギニネサクノ
 通速日神次建御雷之男神亦名建布ヒヤビノカミツギニタケカツチノヲノカミミタノミナタケフ

都神ツノカミ。布都フツ二字以マタ亦名豐布都神ツノカミ。三次ツギニ
集御刀之手上血自手俣漏出所成神アツマルハカシノタカミニチヨリタナマタクキデナリマセルカミ。
名ミナ訓漏云ミナハ。閻於加美神クラオカミ。於以下三字次ヨリ以下三字
閻御津羽神クラミツハノカミ。

上件自石拆神以下閻御津羽神以カミノクダリヨリイハサクノカミシモクラミツハノカミ。
前并八神者因御刀所生之神者也デアハセテヤハシラハヨリテハカシニナリマセルカミナリ。
所敎迦具土神之於頭所成神名正鹿コロサエマシカグツチノカミノニミカシラナリマセルカミミナハマヤカ。

山上津見神次於胸所成神名於滕山ヤマツツミノカミツギニニミハネナリマセルカミミナハオドヤマ。
津見神ツツミノカミ。於滕ツツ。次於腹所成神名奥山ツツミノカミツツ。
上津見神次於陰所成神名閻山津見ツツミノカミツツニニミホトナリマセルカミミナハクラヤマツツ。
神次於左手所成神名志藝山津見神カミツツニニヒダリノミテナリマセルカミミナハヤマツツ。
志藝ツツ。次於右手所成神名羽山津見ツツニニミギリノミテナリマセルカミミナハヤマツツ。
神次於左足所成神名原山津見神カミツツニニヒダリノミテナリマセルカミミナハハラヤマツツ。
於右足所成神名户山津見神ニミギリノミアシナリマセルカミミナハトヤマツツ。
自正鹿ヨリマサカ。

神カミ至ニ戸ト山ヤマ津ツ故カレ所キリ斬タマ之ヘル刀ミカシ名ナハ謂イフ天アメ之ノ尾ヲ
見ミ神カミ并ニ八ヤ神カミ故カレ所キリ斬タマ之ヘル刀ミカシ名ナハ謂イフ天アメ之ノ尾ヲ
羽ハ張バリ亦ナ名ナ謂イフ伊イ都ツ之ノ尾ヲ羽ハ張バリ張バリ伊イ都ツ之ノ尾ヲ羽ハ張バリ張バリ
是コ欲オモホシテ相アヒ見ミ其ソノ妹イモ伊イ邪ザ那ナ美ミ命コト追オヒ往イ黃キ泉ヨ
國クニ爾ニ自スナハチ殿ヨリ騰ト戸ド出イデ向ムカ之ヘ時トキ伊イ邪ザ那ナ岐ギ命コト
語カタラヒ詔タハク之ヲ愛ウツクシキ我アガ那ナ迹ニ妹モノ命ミコト吾アレト與ミマシ汝ツグ所レ任リシ之ヲ
國クニ未イマタ任ツクリ竟ラヘズ故アレハ可カヘリ還サネ今イマ伊イ邪ザ那ナ美ミ命コト答コタ白ハク
悔クヤシキ我カモ不ズ速テ來トク吾キマ者サ為ハ黃シツ泉ヨ戶モツ喫グヒ然シカレ愛ウツクシキ我アガ

那ナ勢セ命ノ那ナ勢セ二ニ字ジ以イ入イ來リ坐キ之マ事セ恐ル故コト也カシ
欲カヘリ還ナムラ旦ツドメテ具ツツ與ツツ黃ツツ泉ツツ神ツツ相ツツ論ツツ莫ツツ視ツツ我ツツ如ツツ此ツツ
白マラ而シテ還カヘリ入イリ其ソノ殿ノ内ノ之ノ間ノ甚ホド久イト難ヒサシク待チ故カレ刺サセル
左ヒダリ之ノ御ミ美ミ豆ツ良ラ湯ユ津ツ津ツ間ツ櫛グシ
之ノ男ヲ柱バシラ一ヒト箇ツ取トリ關カキ而テ燭トモシテ一ヒト火ツビ入イリ見ミ之ノ時トキ
宇ウ士ジ多タ加カ礼レ斗ト呂ロ呂ロ岐ギ互テ於ニ頭ミカシラ
者ハ大オホ雷イカツチ居ナリ於ニ胸ムネ者ハ火ホノ雷イカツチ居ナリ於ニ腹ハラ者ハ黑クロ雷イカツチ

古事記上

十六

居於陰者拆雷居於左手者若雷居於
ヲリニミホトハサクイカツチヲリニヒダリノミテハワキイカツチヲリニ
 右手者土雷居於左足者鳴雷居於右
ミギリノミテハツチイカツチヲリニヒダリノミアシハナルイカツチヲリニミギリノ
 足者伏雷居并八雷神成居於是伊邪
ミアシハフシイカツチヲリアセテヤクサノイカツチガミナリヲリキコ、ニイザ
 那岐命見畏而逃還之時其妹伊邪那
ナギノミコトミカシコミテニゲカヘリマストキニソノイモイザ
 美命言令見辱吾即遣豫母都志許賣
ミノミコトブラシモテセモツミハギアレニスナチツカシテヨモツシコメラ
 此六字令追尔伊邪那岐命取黑御髮
此六字シメタヒキオハカレイザナギノミコトトリテクロミカツチヲ
 以音ヲ音ヲ令追尔伊邪那岐命取黑御髮
ナゲウラタヒシカスナチナリキエヒカツチノミコラヒリハムアヒダニニゲイデマヌラナホオヒシカバ
 投棄乃生蒲子是撫食之間逃行猶追

亦刺其右御美豆良之湯津津間擲引
ベタサセルソノミギリノミミツラニユツツバグシラヒキ
 關而投棄乃生笋是拔食之間逃行且
カキテナゲウラタマハスナチナリキタカチコラヌキハムアヒダニニゲイデマキマタ
 後者於其八雷神副千五百之黄泉軍
ノチニハニソノヤクサノイカツチガミソヘテチイホノヨモツイクサラ
 令追尔拔所御佩之十拳劔而於後手
シメタヒキオハカレヌキミハカセルトツカツルギラテニシリヘテ
 布伎都都此四字逃来猶追到黄泉比
フキツツ此四字ニゲキセルヲナホオヒテイタルヨモツヒ
 良此二字坂之坂本時取在其坂本桃
ラ此二字サカノサカモトニトキニトリテナルソノサカモトモ
 子三箇待擊者悉逃返也尔伊邪那岐
ミラミツ上マチウチタマヒシカバコトニニゲカヘリキコ、ニイザナギノ
 古事記上
 十七

命告桃子。汝如助吾於葦原中國所有
ミコトノリタケモ、ニイマシゴトタスケガアラニアシハラノナカツクニアラユル
 宇都志伎此四字青人草之落苦瀨而
ウツシキ此四字アラヒトクサノオチウキセニテ
 患惱時可助告。賜名号意富加牟豆美
クルシマムトキニタスケテヨトリタヒテタマヒキナライフオホカムヅミノ
 命。自意至イヤハテニソノイモ伊邪那美命身自
ミコト。自意至イヤハテニソノイモ
 追來焉尔。千引石引塞其黄泉比良坂
オヒキマシキスナチチビキイハラヒキサヘテソノヨモツヒラサカニ
 其石置中各對立而度事戶之時伊邪
ソノイハラオキテナカニアヒムキタシテワタスコトミラトキニイ
 那美命言愛我那勢命為如此者。汝國
ナミノミコトノマラシタケウツシキアガナセノミコトシタマヒカク

之人草。一日絞殺千頭尔。伊邪那岐命
ノヒトクサ。ヒトヒニケリコサトハラシタヒキチカシラコニイザナギノミコトノ
 詔愛我那迹妹命。汝為然者。吾一日立
ノリタケウツシキアガナセノミコトミマシシタマヒシカアレハヤヒトヒニタマハルヒ
 千五百産屋是以一日必千人死。一日
チイホウブヤコハラモテヒトヒニカナラズチヒトシニヒトヒニ
 必千五百人生也。故号其伊邪那美命
カナラズチイホヒトナモウマユルカレラソノイザナミノミコト
 謂黄泉津大神亦云。以其追斯伎斯
マラスヨモツオホカミトマタイヘリヨリテカノオヒシキシニ
 而号道敷大神亦所塞其黄泉坂
マラストモチシキノオホカミトマタレリシサヤソノヨミノサカニ
 之石者。号道反之大神亦謂塞坐黄泉
イハマラシチガヘシノオホカミトモマラスサヤリマスヨ

古事記上

十八

戸大神故其所謂黃泉比良坂者今謂
ドノオホカミトモカレソノイハユルヨモツヒラサカハイマ
 出雲國之伊賦夜坂也。是以伊邪那岐
イヅモノクニノイフヤサカトナモコラモテイザナギ
 大神詔吾者到於伊那志許米上志許
オホカミノリタマクアハイタリイナシコメシコ
 米岐此九字穢國而在祁理此二字故
メキ此九字キタナクニテアリケリ此二字
 吾者為御身之楔而到坐竺紫日向之
アハセテリタミテオホミマノハラヒイタリマシツクシノヒカノ
 橘小門之阿波岐此三字原而楔袂也
タチナラドノアハギ此三字ハラニテミギハラタマヒキ
 故於投棄御杖所成神名衝立船戸神
カレニナゲウツルツエナリマセルカミミナハツキタツフナドノカミ

次於投棄御帶所成神名道之長乳齒
ツギニナゲウツルオビナリマセルカミミナハミチノナガチハ
 神次於投棄御裳所成神名時置師神
カミツギニナゲウツルモナリマセルカミミナトキオカシノカミ
 次於投棄御衣所成神名和豆良比能
ツギニナゲウツルミケシナリマセルカミミナワヅラヒノ
 宇斯能神此神名次於投棄御禪所成
ウシノカミ此神名ツギニナゲウツルミハカマナリマセル
 神名道保神次於投棄御冠所成神名
カミミナチマダカミツギニナゲウツルカガフリナリマセルカミミナ
 飽咋之宇斯能神自宇以下次於投棄
アキグヒノウシノカミ自宇以下ツギニナゲウツル
 左御手之手纏所成神名奧踈神訓奧
ヒダリノミテノタマキナリマセルカミミナオキガカルカミ訓奥
云ニ米

伎下效此訓疎云
 奢加留下效此
 神自那以下五字
 以音下效此四字
 自甲以下四字
 以音下效此四字
 纏所成神名邊
 古神次邊津甲斐弁羅神
 右件自船戸神以下邊津甲斐弁羅
 神以前十二神者因脱著身之物所

生神也
 於是詔之上瀬者瀬速下瀬者瀬弱而
 初於中瀬墮迦豆伎而滌時所成坐神
 名八十禍津日神訓禍云摩次大禍津
 日神此二神者所到其穢繁國之時曰
 污垢而所成之神者也次為直其禍而
 所成神名神直毗神下效此音次大直

古事記上

毗神次伊豆能賣神并三神也伊以次
 於水底滌時所成神名底津綿上津見
 神次底筒之男命於中滌時所成神名
 中津綿上津見神次中筒之男命於水
 上滌時所成神名上津綿上津見神訓
 者阿曇連等之祖神以伊都久神也以伊
云字 次上筒之男命此三柱綿津見神
開アツミノムラシラガオヤガミトモチイツクカミナリ

下三字以故阿曇連等者其綿津見神
 之子字都志日金拆命之子孫也字都
 其底筒之男命中筒之男命上筒
 之男命三柱神者墨江之三前大神也
 於是洗左御目時所成神名天照大御
 神次洗右御目時所成神名月讀命次
 洗御鼻時所成神名建速須佐之男命
下三字以故阿曇連等者其綿津見神
音下效此
音ノミコウツシヒガナサクノミコトノスエナリ
字以
音ヲ
ノヲノミコトミハシランカミハスミノエノマヘノオホカミナリ
コ、ニアラヒタマフヒタリノミメラトキニナリマセルカミミナハアマテラスオホ
カミツギニアラヒタマフミギリノミメラトキニナリマセルカミミナハツクヨミノミコトツギニ
アラヒタマフミハナラトキニナリマセルカミミナハタケハヤスサノヲノミコト

須佐二
字以音

右件八十禍津日神以下速須佐之

男命以前十柱神者曰滌御身所生

者也

此時伊邪那岐命大歡喜詔吾者生生

子而於生終得三貴子即其御頸珠之

玉緒母由良迹此四字以取由良迹志

而賜天照大御神而詔之汝命者所知

高天原矣事依而賜也故其御頸珠名

謂御倉板舉之神訓板舉次詔月讀命

汝命者所知夜之食國矣事依也訓食

次詔建速須佐之男命汝命者所知

海原矣事依也故各隨依賜之命所知

看之中速須佐之男命不治所命之國

而八拳須至于心前啼伊佐知伎也。テ。ヤ。ツカ。ヒゲイタルマテ。ムナサキニナキイサチキ
下四字效此其泣状者青山如枯山泣枯。ソノナキタラサマハ。アラヤマラナスカラヤナキカラシ
 河海者悲泣乾是以恶神之音如狭蠅。ウミカハ。コトハニナキホシキコハフモテアラフルカミノオトナヒナスサバハ
 皆满万物之妖患發故伊邪那岐大御。ミナワキヨロツモノノワザハヒコトハニオコリキカレイザナギノオホ
 神詔速須佐之男命何由以汝不治所。カミノリタマハクハヤスサノラノミコトニナニトカモミマシハズシラサ
 事依之國而哭伊佐知流尔答白僕者。コトヨサセクニラテナキイサチルトリタマハマラシタマクアハ
 欲罷妣國根之堅洲國故哭尔伊邪那。オモフガマカラストハノクニネノカタスクニユヱニナトマラシヒキコニイザナ

岐大御神大忿怒詔然者汝不可住此。ギノオホミカミイタクイカラシテノリタマヒテシカラバミマシナスミソトコノ
クニハス大チカム國乃神夜良比尔夜良比賜也。ヤラヒニヤラヒタマヒキ
以故其伊邪那岐大神者坐淡海之多。カレソノイザナギノオホカミハマシマスアフミシノタ
音賀也故於是速須佐之男命言然者請。ガニナモ。カレコ、ニハヤスサノラノミコトノマラシタマクシカラバマラシテ
アマテラスオホミ天照大御神將罷乃参上天時山川悉。カミニニカリナトマラシヒテスナチキノボリマスアマニトキニヤマカハコトクニ
トヨミクニツチ動國土皆震尔天照大御神聞驚而詔。ミナユリキコニアマテラスオホカミキオドロカシテノリタマヒテ
アガナセノミコトノノボリキマスユヱハカテラスジウルハシキコノナラオモホスニウバムト我那勢命之上来由者必不善心欲奪。

我國耳アガクニラコソトスナチトキミ即解御髮カミラマカシ纏御美豆羅ミミヅラニテスナチニ而乃於
 左右御美豆羅亦於御髮亦於左右御ヒダリミギリノミ
 手各纏持八尺勾璫之五百津之美湏テミナキモタシヤサカノマガタマノイホ
 麻流之珠而マールノタマラテ自美至流自美至流四字曾毗良迹ソビラニ
 者負千入之鞞ハオヒチノリノ訓入云能理下效此訓入云能理下效比良比良
 迹者附五百入之鞞亦所取佩伊都ツケイホノリノ此此
 字以之竹鞞而弓腹振立而堅庭者於字以之竹鞞而弓腹振立而堅庭者於
 音音

向股蹈那豆美ムカモ、フミナヅミ三字如沫雪蹶散而伊三字如沫雪蹶散而伊
 都ツ二字之男建以音多多踏建而待問何踏建而待問何
 故上来尔速湏佐之男命答白僕者無故上来尔速湏佐之男命答白僕者無
 邪心唯大御神之命以問賜僕之哭伊邪心唯大御神之命以問賜僕之哭伊
 佐知流之事故白都良久佐知流之事故白都良久三字僕欲往三字僕欲往
 妣國以哭尔大御神詔汝者不可在此妣國以哭尔大御神詔汝者不可在此
 國而神夜良比夜良比賜故以為請將國而神夜良比夜良比賜故以為請將
 古事記上
 二十四

罷往之狀マカリナムト。上サマラ。糸上耳ホリツレ。無異心ナドマシタマハゲキコロ。尔アマ。天照大御テラスオホミ。神カミ。詔然者汝心之清明何以知シラシトコ、ニ。於是速ハヤ。須佐之男命スサノノミコト。答コタヘ。白各字氣比而生子ウマナトミコ。宇ミ。以下三字以以下三字以。故尔各中置天安河而宇カレコ、ニオノモクナカニオキアメノヤスノカハラテウ。氣布時天照大御神ケフトキニアマテラスオホミカミマツコヒワタシテタケハヤ。先乞度建速須佐ミキダニテ。之男命所佩十拳劔ヲノミコトノミハカセルトツカツルギラウチラリ。打折三段而奴那ミキダニテ。登母母由良尔トモモユラニ。此八字以此八字以。振滌天之真フリス、キテアメノマ。

名井而佐賀美尔迦美而ナキニサガミニカミテ。自佐下六字自佐下六字。於吹棄氣吹之狭霧所成神御名多紀ニフキウツルイブキノサギリナリマセルカミミナハタキ。理毗賣命リビメノミコト。此神名此神名。亦御名謂奥津嶋比オタミミナハマラスオキツシマヒ。賣命次市寸嶋上メノミコトツギニイチキシマ。比賣命亦御名謂狭ヒメノミコトオタミミナハマラスサ。依毗賣命次多岐都比賣命ヨリビメノミコトツギニタギツヒメノミコト。三柱此神三柱此神。速須佐之男命乞度天照大御神所纏ハヤスサノノミコトコヒワタシアマテラスオホミカミノマカセル。左御美豆良八尺勾瓏之五百津之美ヒダリノミミヅラニヤサカノマガタマノイホツノミ。

古事記上

須麻流珠而奴那登母由良尔振滌
ス マルノタマラテ。ヌナトモユラニフリスギ
 天之真名井而佐賀美迹迦美而於吹
アメノマナナニテ。サガミニカミテ。ニフキ
 棄氣吹之狭霧所成神御名正勝吾勝
ウツルイブキノサギリナリマセルカミ。ミナハマサカアカツ
 勝速日天之忍穗耳命亦乞度所纏右
カチハヤビアメノオシホミノミコトマタコヒワタシマカセルミキリ
 御美豆良之珠而佐賀美迹迦美而於
ミミヅラニタマラテ。サガミニカミテ。ニ
 吹棄氣吹之狭霧所成神御名天之菩
フキウツルイブキノサギリナリマセルカミ。ミナハアメノホ
 卑能命自菩下三亦乞度所纏御髮之
ヒノミコト。自菩下三。マタコヒワタシテマカセルミカツラニ

珠而佐賀美迹迦美而於吹棄氣吹之
タマラサガミニカミテ。ニフキウツルイブキノ
 狭霧所成神御名天津日子根命又乞
サギリナリマセルカミ。ミナハアマツヒネノミコトマタコヒ
 度所纏左御手之珠而佐賀美迹迦美
ワタシマカセルヒダリミテニタマラテ。サガミニカミ
 而於吹棄氣吹之狭霧所成神御名活
テニフキウツルイブキノサギリナリマセルカミ。ミナハイク
 津日子根命亦乞度所纏右御手之珠
ツヒコネノミコトマタコヒワタシマカセルミキリ。テニ
 而佐賀美迹迦美而於吹棄氣吹之狭
テ。サガミニカミテ。ニフキウツルイブキノサ
 霧所成神御名熊野久須毗命并五柱
キリナリマセルカミ。ミナハクマヌクスビノミコト。并テ五柱

三字 於 是 天 照 大 御 神 告 速 瀨 佐 之 男
 命 是 後 所 生 五 柱 男 子 者 物 實 因 我 物
 所 成 故 自 吾 子 也 先 所 生 之 三 柱 女 子
 者 物 實 因 汝 物 所 成 故 乃 汝 子 也 如 此
 詔 別 也 故 其 先 所 生 之 神 多 紀 理 比 賣
 命 者 坐 宵 形 之 奧 津 宮 次 市 寸 嶋 比 賣
 命 者 坐 宵 形 之 中 津 宮 次 田 寸 津 比 賣

命 者 坐 宵 形 之 邊 津 宮 此 三 柱 神 者 宵
 形 君 等 之 以 伊 都 久 三 前 大 神 者 也 故
 此 後 所 生 五 柱 子 之 中 天 菩 比 命 之 子
 建 比 良 鳥 命 此 出 雲 國 造 無 邪 志 國 造
 伊 自 牟 國 造 津 嶋 縣 直 造 下 菟 上 國 造
 遠 江 國 造 等 之 祖 額 也 次 天 津 日 子 根
 命 者 凡 川 内 國 造 田 中 直 山 代 湯 坐 連 茨 木
 國 造 高 市 縣 主 蒲 生 稻 寸 三 枝 部 造 等 之
 造 高 市 縣 主 蒲 生 稻 寸 三 枝 部 造 等 之

古事記上

二十七

也祖^オ ^コニハヤス ^サノ ^ラノ ^ミコト ^マラシマク ^アマ ^テラス ^オホ ^ミカミニ
 爾速須佐之男命。白于天照大御神。
 我心清明故。我所生之子。得手弱女。因
 此言者。自我膝云。而於膝佐備。此二字
 離天照大御神之營田之阿。此阿字埋
 其溝亦其於聞者大嘗之殿屎麻理。此
 字以散故。雖然為天照大御神者。登賀
 米受而告。如屎醉而吐散。登許曾。此三
 字以

音^アカ ^ナセ ^ノ ^ミコト ^シツラ ^メカ ^ク。 ^マタ ^ハナ ^チタ ^ノ ^アラ ^ウル
 我那勢之命為如此。又離田之阿埋
 溝者。地矣。阿多良斯登許曾。自阿以下
 我那勢之命為如此。登。此一字。詔雖直。
 猶其惡態不止。而轉天照大御神坐忌
 服屋而令織神御衣之時。穿其服屋之
 頂。逆剝天斑馬剝而所墮入時。天衣織
 女見驚而於梭衝陰上而死。訓陰上。故
 云富登。

古事記上

於是天照大御神見畏閑天石屋戸而
コ、ニ アマテラスオホミカミミカシコミテタテアマノイハヤドヲテ。
 刺許母理此三字坐也マシクキスナハチタカマノハラミナクラク尔高天原皆暗。
サシコモリ此三字以レ音
 葦原中國悉闇因此而常夜往於是萬
アシハラノナカツクニコトクニクラシヨリコレニテトコヨユクコ、ニヨロツク
 神之聲者狹蠅那須此二字滿萬妖恚
カミノオトナヒハサバヘナス此二字以レ音
 發是以八百萬神於天安之河原神集
オコリキコ、ヲモテヤホヨロツノカミニアメノヤスノカハラカムツドヒ
 集而訓集云高御產巢日神之子思金
ツドヒテ都度比云
 神令思訓金云而集常世長鳴鳥令鳴
カミニシメオモハ加訓金云
テツドヘテトコヨノナガナキドリヲシメナカ

而取天安河之河上之天堅石取天金
テトリアメノヤスノカハノカハラノアメノカタシハラトリアダノカナ
 山之鐵而求鍛人天津麻羅而麻羅二
ヤマノカネヲテマギカヌチアマツマラヲテ
 科伊斯許理度賣命自伊下六令任鏡
オホセテイシコリドメノミコトニ
 科玉祖命令任八尺勾璫之五百津之
オホセテタマノヤノミコトニシメツクラヤサカノマガタマノイホツツ
 御須麻流之珠而召天兒屋命布刀玉
ミスルマノルノタマヲテヨビアマノコヤネノミコトフタマノ
 命布刀二字以而ウツヌキニアメノカグヤマノマ內拔天香山之真男
ミコトヲ
 鹿之肩拔而取天香山之天之波波迦
シカノカタラヌキテトリアメノカグヤマノアメノハハカ

此三字以而令占合麻迦那波而自麻
音木名香山之五百津真賢木矣根許
字以士尔許士而自許下五於上枝取著八
音尺勾璉之五百津之御須麻流之玉於
サカノマガタマノイホツツノスマルノタマラニ
ナカツエトリカゲヤタカミツハ中枝取繫八尺鏡訓ハ於下枝取
シテシラニギテアラニギテラテ垂白丹寸手青丹寸手而訓テ此種
グサノモノハフ種物者布刀玉命布刀御幣登取持而

天兒屋命布刀詔戸言禱白而天手力
アノコヤネノミコトフ
ヲノカミカクリタシ男神隱立戸掖而天宇受賣命手次繫
アメノカグヤマノアメノヒ天香山之天之日影而為髮天之真拆
テ。タ。グサニユヒ而手草結天香山之小竹葉而訓テ而踏登
ニ於天之石屋戸伏汗氣此二字而音登
ド。ロ。コ杼呂許志此五字為神懸而掛出胃乳
モ。ヒモラオシタレキ裳緒忍垂於番登也カレ尔高天原動而八

古事記上

三十

百萬神共咲。於是天照大御神以為怪。
ホ ヨロツノカミ トモニワラヒキ コ、ニ アマ テラス オホ カミ オモホシテ アヤシト
 細開天石屋戶而內告者。因吾隱坐而
ホソメニヒラキ アマノイハヤ ドラテ ウチヨリノリタヘルハヨリ アガコモリマスニ テ
 以為天原自闇亦葦原中國皆闇矣。何
オモフヲ アマノハラ オウカラクラク アシハラノ ナカツクニモミナクラケムト ナ
 由以天宇受賣者為樂亦八百萬神諸
ドテ アメノウズメ ハシ アソビ マタヤ ホ ヨロツノカミ モロク
 咲。尔天宇受賣白言益汝命而貴神坐
ワラトイモキスオチ アメノウズメ マラシキ マサリテ ナガミコトニ タフトキカミ イマスガ
 故歡喜咲樂如此言之間天兒屋命布
ユヱニ エラギ アンブト カク マラス アヒタニアノ コヤネノミコトフ
 刀玉命指出其鏡示奉天照大御神之
ト タマンミコトサシイデ、カノカミミラミセマツル アマテラス オホカミニ

時天照大御神逾思奇而稍自戶出而
トキニアマ テラス オホカミ イヨ、 オモホシ アヤシトテ ヤ、ヨリト イデテ
 臨坐之時其所隱立之天手力男神取
ノゾミマス トキニカノカクリ タテル アメノタチカラヲノカミ トリテ
 其御手引出即布刀玉命以尻久米
ソノミテラヒキイタマリキスナチフ ト タマンミコトヲシリクメ
 字以繩控度其御後方。白言從此以內
ナハヒキワタシテソノシリヘニマラシキヨリコ、ウチニ
 不得還入。故天照大御神出坐之時高
ナカヘリイリマシト。カレアマテラス オホカミ イデマセル トキニタカ
 天原及葦原中國自得照明於是八百
マノハラモ アシハラノナカツクニモオツカラテリアカリキ コ、ニヤ
 萬神共議而於速瀨佐之男命負千位
ヨロツノカミ トモニハカリテ ニハヤス サノヲノミコト オホセチクラ

オキ ドラ マタ キリ エゲラ テアシノ ツメラモシメ マカ テ カム ヤ ラ
 置戸亦切鬚及手足爪令拔而神夜良
 比夜良比岐又食物乞大氣津比賣神
 余大氣都比賣自鼻口及尻種種味物
 取出而種種佐具而進時速須佐之男
 命立伺其態為穢汚而奉進乃致其大
 宜津比賣神故所致神於身生物者於
 頭生蠶於二目生稻種於二耳生粟於

ハナ ナリ アヅキ ニ ホト ナリ ムギ ニ シリ ナリ キ マ メ カレ コニ
 鼻生小豆於陰生麥於尻生大豆故是
 神産巢日御祖命令取茲成種故所避
 追而降出雲國之肥上河上在鳥髮地
 此時箸從其河流下於是須佐之男命
 以為人有其河上而尋覓上往者老夫
 與老女二人在而童女置中而泣余問
 賜之汝等者誰故其老夫答言僕者國

神大山上津見神之子焉。僕名謂足上。
 名推妻名謂手上。名推女名謂櫛名田。
 比賣亦問汝哭由者何。荅白言我之。
 者自本在八稚女。是高志之八。侯遠呂。
 智。此三字。每年來喫。今其可來時故泣。
 尔問其形如何。荅白彼目如赤加賀智。
 而身一有八頭八尾。亦其身生蘿及檜。

楳其長度。谿八谷。峽八尾。而見其腹者。
 患常血爛也。此謂赤加賀也。尔速須佐。
 之男命。詔其老夫是汝之女者。奉於吾。
 哉。荅白恐亦不覺御名。尔荅詔吾者。天。
 照大御神之伊呂勢者也。自伊下三。故。
 今自天降坐也。尔足名推手名推神。白。
 然坐者恐立奉。尔速須佐之男命。乃於。

湯津瓜擲取成其童女而刺御美豆良。
 告其足名推手名推神。汝等釀八鹽折
 之酒。且任迴垣於其垣任八門。每門結
 八佐受岐。此三字。每其佐受岐置酒船
 而。每船盛其八鹽折酒而待。故隨告而
 如此設備待之時。其八侯遠呂智信如
 言來。乃每船垂入己頭飲其酒。於是飲

醉。留伏寢。尔速須佐之男命。拔其所御
 佩之十拳劍。切散其蛇者。肥河變血而
 流。故切其中尾時。御刀之刃毀。尔思怪
 以御刀之前。刺割而見者。在都牟刈之
 大刀。故取此大刀。思異物而。自上於天
 照大御神也。是者草那藝之大刀也。那
 二字。故是。以其速須佐之男命。宮可造

任之地トコロ。求出雲國。尔到坐スガ。須賀ノ。此二字
 效地而詔之。吾来此地。我御心須賀。須
 賀斯而其地任官坐。故其地者。於今云
 須賀也。茲大神初任須賀宮之時。自其
 地雲立騰。尔任御歌。其歌曰。夜久毛多
 都伊豆毛夜幣賀岐都麻基微尔夜幣
 賀岐都久流曾能夜幣賀岐袁。於是喚

其足名推神。告言汝者任我宮之首。且
 負名号稻田宮主須賀之八耳神。故其
 櫛名田比賣。以久美度迹起而所生神。
 名謂八嶋士奴美神。自士下三字。又娶
 大山津見神之女。名神大市比賣。生子
 大年神次宇迦之御魂神。二柱。宇迦兄
 八嶋士奴美神。娶大山津見神之女。名

古事記上

三十五

木花知流コノハナチル此二字此二字比賣生子布波能母ヒメニウミセルミコフハハノモ
 遲久奴須奴神チクヌスヌカミ此神娶於迦美神之女此カミミアヒテオカミノミムスメ
 名日河比賣生子深淵之水夜礼花神ナハヒカハヒメニウミセルミコフカフチノミヅヤレハナノカミ
 夜礼ヤレ此神娶天之都度閑知泥上神コノカミミアヒテアメノツトヘチネ上カミ
 字以音字以音此神娶天之都度閑知泥上神此カミミアヒテアメノツトヘチネ上カミ
 自都下五生子於美豆奴神ウミセルミコオミヅヌカミ此神名此カミ
 字以音字以音此神名此カミ
 神娶布怒豆怒神カミミアヒテフヌヌカミ此神名此カミ
 耳上神ミミノ上カミ布帝二生子天之冬衣神フエキヌカミ此神此カミ

娶刺國大上神之女名刺國若比賣生ミアヒテサシクニホノカミノミムスメナハサシクニワカヒメニウミセル
 子大國主神亦名謂大穴牟遲神ミコオホクニヌシノカミマタノミナハラシオホナハヂノカミト牟遲
 以音以音亦名謂葦原色許男神マタノミナハラアシハラシカミト色許色許亦名亦名
 謂八千矛神亦名謂宇都志國玉神マラシヤチホコノカミトマタノミナハラスウツシクニタマノカミト宇都志宇都志三字三字并有五名アハセテアリミナイツカレ故此大國主神之兄コノオホクニヌシノカミノミアニ
 以音以音弟八十神坐然皆國者避於大國主神オトヤソツカミマシキシカレヒミナクニハサケマツリキオホクニヌシノカミニ
 所以避者其八十神各有欲婚稻羽之ユエサケマツリシハツノヤツツカミオホモノアリテヨバムイナバノ

ヤカミヒメヲノコ、ロトモニユキケルイナバニトキニニオホナム
 八上比賣之心共行稻羽時於大穴牟
 遅神負帛為從者率往於是到氣多之
 前時裸菟伏也。余八十神謂其菟云。汝
 將為者。浴此海鹽。當風吹而伏高山尾
 上。故其菟從八十神之教而伏。尔其塩
 隨乾。其身皮委。風見吹。拆故痛苦泣伏
 者。最後之來。大穴牟遲神見其菟言。何

モイマシナキフセルトウサギマヲサクアレアリテオキノシマニドモホリツレワタマク
 由汝泣伏。菟答言。僕在淤岐嶋。雖欲度
 此地。無度因故。欺海和迹。此二字以音下效此言。
 吾與汝競欲計族之多少。故汝者隨其
 族在悉率來。自此嶋。至于氣多前。皆列
 伏度。尔吾蹈其上。走乍讀度。於是知與
 吾族孰多。如此言者。見欺而列伏之時。
 吾蹈其上。讀度來。今將下地時。吾云。汝

古事記上

三十七

者我見欺言竟即伏最端和迹捕我悉
ハワレニエツト不サカイヒラハレバスナチフセルイヤハシニワニトラヘテアラコトクニ
 剝我衣服因此泣患者先行八十神之
ハギアガキモノヲヨリテコレニナキウレヒシカバサキタチテセルヤソカミノ
 命以誨告浴海鹽當風伏故為如教者
ミコトモチテラシヘモキアミウシホラアタリテカセニフセトカレセシカゴトフレシ
 我身悉傷於是大穴牟遲神教告其菟
アガミコトバニソコナクテスコニオホナムチノカミラシヘタマクソノウサギニ
 今急往此水門以水洗汝身即取其水
イマトクユキテコノミナトニモラミツアラメテナガミラスナチトリテソノミナ
 門之蒲黃敷散而輾轉其上者汝身如
トノカマノハナラシキチラシテコイマロテソノウヘニバナガミゴト
 本膚必差故為如教其身如本也此稻
モトノハダノカナラズイエナクテモキセシカゴトラシソノミゴトクニナキモトノコレイナ

羽之素菟者也於今者謂菟神也故其
ハノシロウサギトイフモノナリイマハイフウサギガミトナモカレソノ
 菟白大穴牟遲神此八十神者必不得
ウサギマラサクオホナムチノカミニコノヤソカミハカナラズジエタマ
 八上比賣雖負侘汝命獲之於是八上
ヤカミヒメラドモオヒタレフクロナガミコトゾエタマトマラキコハニヤカミ
 比賣答八十神言吾者不聞汝等之言
ヒメコタヘケラクヤソカミニアハジキカイマシタチノコトハ
 将嫁大穴牟遲神故尔八十神忿怒欲
ムトイフアハオホナムチノカミニカレコハニヤソカミイカリテムト
 教大穴牟遲神共議而至伯伎國之手
ココサオホナムチノカミラアヒタバカリテイタリテハキクニノテ
 間山本云赤猪在此山故和礼此二字
マノヤマモトニイヒタハアカキアルナリコノヤマニカレワレ此二字以音

古事記上

三十八

共追下者。汝待取。若不待取者。必将致。
汝云。而以火燒。似猪大石。而轉落。尔追
下取時。即於其石所燒著而死。尔其御
祖命哭患。而參上于天。請神產巢日之
命時。乃遣蜃貝比賣與蛤貝比賣。令佐
活。尔蜃貝比賣岐佐宜。此三字。集而蛤
貝比賣持承。而塗母乳汁者。成麗壯夫。

訓壯夫云。而出遊行於八十神見且
表等古。而。出遊行於八十神見且
欺率入山。而切伏大樹。茹矢打立其木。
令入其中。即打離其冰。目矢而拷致也。
尔亦其御祖命哭下求者。得見即拆其
木。而取出活。告其子言。汝有此間者。遂
為八十神所滅。乃違遣於木國之大屋
毗古神之御所。尔八十神覓追臻而矢。

刺之時自木俣漏逃而去御祖命告子
云可參向須佐能男命所坐之根堅洲
國必其大神議也故隨詔命而參到須
佐之男命之御所者其女須勢理毗賣
出見為目合而相婚還入白其父言甚
麗神來尔其大神出見而告此者謂之
葦原色許男即喚入而令寢其蛇室於

是其妻須勢理毗賣命以蛇比礼二字
授其夫云其蛇將咋以此比礼三舉打
撥故如教者蛇自靜故平寢出之亦來
日夜者入吳公與蜂室亦授吳公蜂之
比礼教如先故平出之亦鳴鏑射入大
野之中令採其矢故入其野時即以火
迴燒其野於是不知所出之間鼠來云

内者富良富良。此四字。外者須夫須夫。此四字。如此言故蹈其處者落隱入之間。火者燒過。尔其鼠咋持其鳴鏑出来而奉也。其矢羽者其鼠子等皆喫也。於是其妻須世理毗賣者持喪具而哭来。其父大神者思已死訖。出立其野。尔持其矢以奉之時。率入家而喚入八田間。

大室而令取其頭之虱。故尔見其頭者。吳公多在於是其妻。取牟久木實與赤土授其夫。故咋破其木實。含赤土。唾出者。其大神以為咋破吳公。唾出而於心。思愛而寢。尔握其神之髮。其室每椽結著而五百引石。取塞其室戶。負其妻須世理毗賣。即取持其大神之生大刀與

生弓矢及其天沼琴而逃出之時其天
イクユミヤマタソノアマノヌコトラテニゲイデマス
 沼琴拂樹而地動鳴故其所寢大神聞
ヌコトフレキニテツチトドロキカレソノミネマセルオホカミキ
 驚而引仆其室然解結椽髮之間遠逃
オトロカシテヒキタシタマヒキソノムロヤラシカレヒトカスユヘルタリキニカミラアヒタニトホクニゲタマヒキ
 故尔追至黄泉比良坂遥望呼謂大穴
カレコニオヒイデマシテヨモツヒラサカマデハクニミサケテヨヒテノリタマクオホナ
 牟遲神曰其汝所持之生大刀生弓矢
ムチノカミラソノイマシガモタルイクタチイクユミヤラ
 以而汝庶兄弟者追伏坂之御尾亦追
モチテイマシガアニオトモラバオヒフセサカノノラニオヒ
 撥河之瀬而意礼二字為大國主神亦
ハラヒカハノセニテオレニ音ナリオホクニヌシノカミトマタ

為宇都志國玉神而其我之女須世理
ナリウツシクニタマノカミトテソノアガムスメスセ
 毗賣為嫡妻而於宇迦能山三字之山
ビメラシムカヒメトテニウカノヤマニ音ノヤマ
 本於底津石根宮柱布刀斯理此四字
モトニソコツイハネミヤバシラフトシ以レ音
 於高天原冰椽多迦斯理此四字而居
ニタカマノハラヒギタカシリ以レ音
 是奴也故持其大刀弓追避其八十神
コヤツヨトリタマヒキカレモチテソノタチユミラオヒサクルソノヤソカミラ
 之時每坂御尾追伏每河瀬追撥而始
トキニゴトニサカノミヲオヒフセゴトニカハノセオヒハラヒテハジメタマヒキ
 在國也故其八上比賣者如先期美刀
ツクリクニカレソノヤカミヒメハゴトサキノチキリノミ

阿多波志都此七字故其八上比賣者。
 雖率來畏其嫡妻須世理毗賣而其
 生子者刺狹木俣而返故名其子云木
 俣神亦名謂御井神也此八千矛神將
 婚高志國之沼河比賣幸行之時到其
 沼河比賣之家歌曰夜知富許能迦微
 能美許登波夜斯麻久余都麻麻岐迦

泥互登富登富斯故志能久迹迹佐加
 志賣遠阿理登岐加志互久波志賣遠
 阿理登伎許志互佐用婆比余阿理多
 多斯用婆比迹阿理加用婆勢多知賀
 遠母伊麻陀登加受互淤湏比遠母伊
 麻陀登加泥婆遠登賣能那湏夜伊多
 斗遠淤曾夫良比和何多多勢礼婆比

許豆良比。和何多多勢。礼婆阿遠夜麻。
 迹奴延波那伎佐怒都登理岐藝斯波。
 登與牟尔波都登理迦祁波那久宇礼。
 多久母那久那留登理加許能登理母。
 宇知夜米許世泥伊斯多布夜阿麻波。
 勢豆加比許登能加多理其登母許遠。
 婆尔其沼河日賣未開戸自内歌曰夜。

知留許能迦微能美許等。奴追久佐能。
 賣迹志阿礼婆和何許許吕宇良須能。
 登理叙伊麻許曾婆知杼理迹阿良米。
 能知波那杼理尔阿良牟遠伊能知波。
 那志勢多麻比曾伊斯多布夜阿麻波。
 世豆迦比許登能加多理基登母許遠。
 婆阿遠夜麻迹比賀迦久良婆奴婆多。

古事記上

四十四

麻能^{マノ}用^ヨ波伊^{ハイ}傳^デ那牟^{ナム}阿佐^{アサ}比能^{ヒノ}惠美^{エミ}佐^サ
 加^カ迓^エ岐^キ豆^テ多^タ久^ク豆^ヅ怒^ヌ能^ノ斯^シ路^ロ岐^キ多^タ陀^ダ牟^ム
 岐^キ阿^ア和^ワ由^ユ岐^キ能^ノ和^ワ加^カ夜^ヤ流^ル牟^ム泥^ネ遠^ラ曾^ソ陀^ダ
 多^タ岐^キ多^タ多^タ岐^キ麻^マ那^ナ賀^ガ理^リ麻^マ多^タ麻^マ傳^デ多^タ麻^マ
 傳^デ佐^サ斯^シ麻^マ岐^キ毛^モ毛^モ那^ナ賀^ガ尔^ニ伊^イ波^ハ那^ナ佐^サ牟^ム
 遠^ラ阿^ア夜^ヤ尔^ニ那^ナ古^コ斐^ヒ岐^キ許^コ志^シ夜^ヤ知^チ富^ホ許^コ能^ノ
 迦^カ微^ミ能^ノ美^ミ許^コ登^ト許^コ登^ト能^ノ迦^カ多^タ理^リ基^キ登^ト母^モ

許^コ遠^ラ婆^バ故^ケ其^ソ夜^ヨ者^ハ不^ズ合^ア而^テ明^{クル}日^ヒ夜^ノ為^シ御^ミ
 合^ア也^ヒ又^マ其^ソ神^{カミ}之^ノ嫡^{オホキ}后^{サキ}須^ス勢^セ理^リ毗^ビ賣^メ命^ノ甚^シ
 為^シ嫉^シ妬^ル故^ケ其^ソ日^ヒ子^コ遲^チ神^{カミ}和^ワ備^ビ豆^テ以^ニ音^{ヨリ}自^{ヨリ}
 出^イ雲^{ヅモ}將^ム上^ト坐^シ倭^{ヤマト}國^ノ而^テ東^ト裝^ヒ立^タ時^{トキ}片^{カタ}御^ミ手^テ
 者^ハ繫^{カケ}御^ミ馬^マ之^ノ鞍^{クラ}片^{カタ}御^ミ足^{アシ}蹈^フ入^イ其^ソ御^ミ鐙^{アブ}而^テ
 歌^{ウタ}曰^{ハク}奴^ヌ婆^バ多^タ麻^マ能^ノ久^ク路^ロ岐^キ美^ミ祁^ケ斯^シ遠^ラ麻^マ
 都^ツ夫^ブ佐^サ尔^ニ登^ト理^リ與^ヨ曾^ソ比^ヒ於^オ岐^キ都^ツ登^ト理^リ牟^ム

那美流登岐波多多藝母許禮婆布佐
 波受幣都那美曾迹奴岐宇豆蘓迹杼
 理能阿遠岐美祁斯遠麻都夫佐迹登
 理與曾比淤岐都登理牟那美流登岐
 波多多藝母許母布佐波受幣都那美
 曾迹奴棄宇豆夜麻賀多尔麻岐斯阿
 多居都岐曾米紀賀斯流迹斯米許呂

母遠麻都夫佐迹登理與曾比淤岐都
 登理牟那美流登岐波多多藝母許斯
 與呂志伊刀古夜能伊毛能美許等牟
 良登理能和賀牟礼伊那婆比氣登理
 能和賀比氣伊那婆那迦士登波那波
 伊布登母夜麻登能比登母登湏湏岐
 宇那加夫斯那賀那加佐麻久阿佐阿

米能佐疑理迹多多牟叙和加久佐能。
 都麻能美許登許登能加多理基登母。
 許遠婆尔其后取大御酒坏立依指舉。
 而歌曰夜知富許能加微能美許登夜。
 阿賀淤富久迹奴斯那許曾波遠迹伊。
 麻世婆宇知微流斯麻能佐岐邪岐加。
 岐微流伊蘇能佐岐淤知受和加久佐。

能都麻母多勢良米阿波母與賣迹斯。
 阿礼婆那遠岐互遠波那志那遠岐互。
 都麻波那斯阿夜加岐能布波夜賀斯。
 多尔牟斯夫須麻尔古夜賀斯多尔多。
 久夫須麻佐夜具賀斯多尔阿和由岐。
 能和加夜流牟泥遠多久豆怒能斯路。
 岐多陀牟岐曾陀多岐多多岐麻那賀。

理^リ麻^マ多^タ麻^マ傳^デ多^タ麻^マ傳^デ佐^サ斯^シ麻^マ岐^キ毛^モ毛^モ那^ナ
 賀^ガ迺^ニ伊^イ遠^ラ斯^シ那^ナ世^セ登^ト與^ヨ美^ミ岐^キ多^タ互^テ麻^マ都^ツ
 良^ラ世^セ如^カ此^ク歌^{ウタヒテスナハチ}即^シ為^ウ宗^キ伎^ユ由^ヒ比^ヒ以^レ四^四音^音而^テ宇^ウ
 那^ナ賀^ガ氣^ケ理^リ互^テ以^レ六^六字^字至^{イタル}今^今鎮^鎮坐^坐也^也此^{コレ}謂^謂之^之
 神^{カミ}語^{ゴト}也^也故^{コノ}此^{オホクニ}大^大國^國主^主神^{カミ}娶^{ミマエテ}坐^坐宵^宵形^{カタノ}奧^{オキ}津^ツ
 宮^{ミヤニ}神^{カミ}多^タ紀^キ理^リ毘^ビ賣^メ命^{ミコトニウミセル}生^シ子^子阿^ア遲^チ以^レ二^二字^字鈕^鈕
 高^{タカ}日^ヒ子^コ根^ネ神^{カミ}次^{ツギニ}妹^{イモ}高^{タカ}比^ヒ賣^メ命^{ミコト}亦^{マタ}名^{ナハ}下^下光^テ

比^ヒ賣^メ命^{ミコト}此^{コノ}之^之阿^ア遲^チ鈕^{シキ}高^{タカ}日^ヒ子^コ根^ネ神^{カミ}者^ハ今^{イマ}
 謂^{マラス}迦^カ毛^モ大^{オホ}御^ミ神^{カミ}者^{カミトカミナリ}也^{オホクニヌシノカミ}大^大國^國主^主神^{カミ}亦^{マタ}娶^{ミマエテ}神^神
 屋^ヤ楯^{タテ}比^ヒ賣^メ命^{ミコトニウミセル}生^シ子^子事^{コト}代^{シロ}主^{ヌシノ}神^{カミ}亦^{マタ}娶^{ミマエテ}八^ヤ嶋^{シマ}
 牟^ム遲^ヂ能^ノ神^{カミ}自^自牟^牟下^下三^三之^ノ女^{ムスメ}鳥^{トリ}耳^{ミミ}神^{カミ}生^シ子^子
 鳥^{トリ}鳴^{ナル}海^ミ神^{カミ}訓^訓鳴^鳴云^云此^{コノ}神^{カミ}娶^{ミマエテ}日^ヒ名^ナ照^{テリ}額^{スカ}田^タ
 毗^ヒ道^チ男^ヲ伊^イ許^コ知^チ迺^ニ神^{カミ}田^田下^下毗^ヒ又^又自^自伊^イ生^{ウミセル}
 子^{ミコ}國^{クニ}忍^{オシ}富^{トミノ}神^{カミ}此^{コノ}神^{カミ}娶^{ミマエテ}葦^{アシ}那^ナ陀^タ迦^カ神^{カミ}自^自下^下三^三

古事記上

四十八

字以マタノナハヤカハニヒ亦名八河江比賣生子速甕之多ハヤミカノタ
音氣佐波夜遲奴美神カミ自多下八コノカミミアヒテ此神娶ニ
アメノ天之甕主神之女前玉比賣生子甕主ミカヌシ
ヒ日子神此神娶於加美神之女比那良ラ
シ志毗賣ウミセルミコタ此神娶比理岐志麻流シマ
ミ美神カミ此神名コノカミミアヒテ此神娶比羅木之其花ハナ
マ麻豆美神カミ木上三字以音ムスメイクタマサキタマ之女活玉前玉メ

ヒ比賣神生子美吕浪神ウミセルミコ美吕二コノカミミアヒテ此神娶ニ
シキヤマ敷山主神之女青沼馬沼押比賣生子メニウミセルミコ
マノシ布忍富鳥鳴海神カミ此神娶若晝女神生カミニウミセル
ミ子天日腹大科度美神カミ度美二コノカミミアヒテ此神娶ニ
ア天狭霧神之女遠津待根神生子遠津トホ
ヤマ山岬多良斯神カミ
ミギノクダリヨリヤ右件自八嶋士奴美神カミ以下遠津山シモトホツヤマ

古事記上

四十九

岬帶神以前稱十七世神
 故大國主神坐出雲之御大之御前時
 自波穗乘天之羅摩船而內剝鵝皮剝
 為衣服有歸來神余雖問其名不答且
 雖問所從之諸神皆白不知余多余且
 久白言自多下四此者久返毗古必知
 之即名久返毗古問時答白此者神產

巢日神之御子少名毗古那神自毗下
 故余白上於神產巢日御祖命者答
 告此者實我子也於子之中自我手俣
 久岐斯子也自久下三故與汝葦原色
 許男命為兄弟而任堅其國故自余大
 穴牟遲與少名毗古那二柱神相並任
 堅此國然後者其少名毗古那神者度

于常世國也。故顯白其少名。毗古那神。
 所謂久遠毗古者。於今者山田之曾富。
 騰者也。此神者。足雖不行。盡知天下之
 事神也。於是大國主神愁而告吾。獨何
 能得任此國。孰神與吾能相任此國耶。
 是時有光海依來之神。其神言能治我
 前者。吾能共與相任。成若不然者。國難

成尔大國主神曰。然者。治奉之狀奈何。
 答言。吾者伊都岐。奉于倭之青垣東山
 上。此者坐御諸山上神也。故其大年神。
 娶神活須毗神之女。伊怒比賣生子。大
 國御魂神。次韓神。次曾富理神。次白日
 神。次聖神。又娶香用比賣。此神名生
 子。大香山戶臣神。次御年神。柱。又娶天

知迦シルカ流美豆比賣ミヅメ訓レ天ツ如レ天ツ亦自オホ生子ウミセルミコ
 奥津日子神次奥津比賣命亦名大戸オホ
 比賣神此者諸人以拜竈神者也次大ツギニオホ
 山上咋神亦名山末之大主神此神者ヤマノカミマタノナハヤマノスエノウシノカミコノカミハ
 坐近淡海國之日枝山亦坐葛野之松マスキカツアフミノクニノヒエノヤマニマタマスカツマノノマツノ
 尾用鳴鑄神者也次庭津日神次阿湏ヲニナリセルナリカフラニカミナリツギニニハツヒノカミツギニ
 波神ハノカミ此神名次波比岐神ツギニハヒノカミ此神名次香ツギニカツ
 以レ音ヲ

山戸臣神次羽山戸神次庭高津日神ヤマトオミノカミツギニハヤマトノカミツギニニハタカツヒノカミ
 次大土神亦名土之御祖神ツギニオホツチノカミマタノミナハツチノミオヤノカミ九ノ
 上件大年神之子自大國御魂神以カミノクダリオホトシノガミノミコヨリオホクニミタマノカミ
 下大土神以前并十六神モオホツチノカミマデアハセテトヨリムハシラ
 羽山戸神娶大氣都比賣神ハヤマトノカミミアヒテオホツツヒメノカミ自氣下四自氣下四字以音ヲ
 生子若山咋神次若年神次妹若沙那ウミセルミコワカヤマクヒノカミツギニワカトシノカミツギニイモワカサナ
 賣神メノカミ自沙下三自沙下三字以音ヲ次彌豆麻岐神ツギニミヅマキノカミ自彌下自彌下四字以
 古事記上
 五十三

音^{ツギニ}次夏高津日神。亦名夏之賣神。次秋^{ツギニ}
 毗賣神。次久久年神。字^{久久ニ}以^音。次久久紀^{久久ニ}
 若室葛根神。字^{久久紀}以^音。三
 上件羽山戸神之子。自若山咋神以^シ
 下。若室葛根神以前并八神
 天照大御神之命。以豐葦原之千秋長^{アキノナガ}
 五百秋之水穗國者。我御子正勝吾勝^{アキノ}

勝速日天忍穗耳命之所知國言因賜^{カチハヤビ}
 而天降也。於是天忍穗耳命於天浮橋^{アマノウキハシ}
 多志^{タシ}。此三字^{此三字}而詔之。豐葦原之千秋^{アキノ}
 長五百秋之水穗國者。伊多久佐夜藝^{イダクサヤギ}
 互^ミ。此七字^{此七字}有祁理^{アリケ}。此二字^{此二字}以^音。告而更還^{サレニカヘリ}
 上請于天照大御神。尔高御產巢日神^{ニホラシテマラシタマヒキ}
 天照大御神之命。以於天安河之河原^{アマテラスオホミカミノミコトモチテニ}

古事記上

五十三

カムツドヘニヤホヨロツノカミヲツドヘテオモロカネノカミニシメオモハテノリタマフ
 神集八百萬神集而思金神令思而詔
 コノアシハラノナカツクニハアガミコノシラサムクニトコトヨサシ
 此葦原中國者我御子之所知國言依
 タマヘルクニナリカレオモホスハニコノクニチハヤブルアラ
 所賜之國也故以為於此國道速振荒
 振國神等之多在是使何神而將言趣
 コニオモロカネノカミマタヤホヨロツノカミタチハカリテマラシキ
 尔思金神及八百萬神議白之天菩比
 カミコレベシトツカスカレツカハシツレアマノホビノカミヲバヤガテコビツキテオホ
 神是可遣故遣天菩比神者乃媚附大
 クニヌシノカミニナルマデミトセニザリキカリトマラサコラモテタカミ
 國主神至于三年不復奏是以高脚產

スビノカミアマテラスオホカミマタトヒタマフモロノカミタチニツカハセル
 巢日神天照大御神亦問諸神等所遣
 アシハラノナカツクニアマノホビノカミヒサシクズカヘリコトマラサマタツカシテハ
 葦原中國之天菩比神久不復奏亦使
 イツレノカミヲエケムコニオモロカネノカミマラシケラクテムト申シキツカハシアマツクニ
 何神之吉尔思金神答白可遣天津國
 タマノカミノコアマワカヒコラカレコニヲアマノマカ
 玉神之子天若日子故尔以天之麻迦
 コユミ自麻下三天之波波此二字矢賜
 古弓字以音ヲ天若日子而遣於是天若日子降到其
 アメワカヒコニテツカハシキコニアマワカヒコクダリツキテカノ
 天若日子而遣於是天若日子降到其
 クニニヌナチメトシオホクニヌシノカミノミムスメシタテルヒメラマタオモロカリテ
 國即娶大國主神之女下照比賣亦慮

獲其國。至于八年。不復奏。故尔天照大
御神高御產巢日神亦問諸神等。天若
日子久不復奏。又遣曷神以問天若日
子之淹留所由。於是諸神及思金神答
白。可遣雉名鳴女時詔之。汝行問天若
日子狀者。汝所以使葦原中國者。言趣
和其國之荒振神等之者也。何至于八

年不復奏。故尔鳴女自天降到。居天若
日子之門湯津楓上。而言委曲如天神
之詔命。尔天佐具賣。此三字。聞此鳥言
而語。天若日子言。此鳥者其鳴音甚惡。
故可射。故云進。即天若日子持天神所
賜天之波士弓。天之加久矢射。故其雉
尔其矢自雉背通而逆射上。逮坐天安

河之河原。天照大御神。高木神之御所。
 是高木神者。高御產巢日神之别名。故
 高木神取其矢見者。血著其矢羽。於是
 高木神告之。此矢者。所賜天若日子之
 矢。即示諸神等。詔者。或天若日子不誤
 命。為射惡神之矢。之至者。不中天若日
 子。或有邪心者。天若日子。於此矢麻賀

禮。此三字。云而取其矢。自其矢穴。衝返
 下者。中天若日子。寢胡床之高。宵坂。以
 死。此還矢。亦其雉不還。故於今諺。曰雉
 之頓使。本是也。故天若日子之妻。下照
 比賣之哭聲。與風響。到天。於是在天。天
 若日子之父。天津國玉神。及其妻子。聞
 而降。來哭悲。乃於其處。任喪屋。而河雁

古事記上

五十六

為岐佐理持。自岐下三鷺為掃持翠鳥。
 為御食人。雀為碓女。雉為哭女。如此行
 定而日八日夜八夜以遊也。此時阿遲
 志貴高日子根神。自阿下四到而吊天
 若日子之喪時。自天降到天。若日子之
 父亦其妻皆哭云。我子者不死有祁理
 此二字以我君者不死坐祁理云。取懸
 音下效此

手足而哭悲也。其過所以者。此二柱神
 之容姿甚能相似。故是以過也。於是阿
 遲志貴高日子根神大怒曰。我者愛友
 故吊來耳。何吾比穢死人云。而拔所御
 佩之十掬劍。切伏其喪屋。以足蹶離遣
 此者在美濃國藍見河之河上。喪山之
 者也。其持所切大刀名。謂大量。亦名謂

神度劍カムドノツルギトモ以レ音ヲ故阿治志貴高日子根神ハオモホテリテトビサリタマフトキニソノイロモタカヒメノミコト
者念而飛去之時其伊呂妹高比賣命オモヒテアスサトソノミナラウタヒケラクアメナナルヤオト
思顯其御名故歌曰阿米那流夜淤登タナバタノウナガセルタマノノミ
多那婆多能宇那賀世流多麻能美湏マニルミスママニルニアナダマハヤミタ
麻流美湏麻流迹阿那陀麻波夜美多ニフタワタラスマアデシキタカヒコ
迹布多和多良湏阿治志貴多迦比古ネノカミゾコノウタハヒナブリナリコハニアマ
泥能迦微曾也此歌者夷振也於是天

照大御神詔之亦遣曷神者吉尔思金テラスオホミカミノノリタマハクマタツカヒテイヅレノカミヲバエケムカレオモヒカネノ
神及諸神白之坐天安河河上之天石カミマタモロクノカミタチマシケラクマスアメノヤスノカハノカハカミノアメノイハ
屋名伊都之尾羽張神是可遣ヤニノナハイツノヲハバリノカミコレベシツカス伊都ニ
若亦非此神者其神之子建御雷之男モシマタズコノカミナラハソノカミノコタケミカヅチノヲノ
神此應遣且其天尾羽張神者逆塞上カミコレベシツカハスマツソノアメノヲハバリノカミハサカサマニセキアゲ
天安河之水而塞道居故他神不得行アメノヤスノカハノミヅヲテセキミチヲラレバアタシカミハジエユカ
故別遣天迦久神可問故尔使天迦久カレコトニツカハシテアメノカクノカミヲベシトマシキトフカレコニツカハシテアメノカクノ

カミヲトフアメノヲハバリノカミニトキニカシコシツカヘマツラム
 神問天尾羽張神之時答白恐之仕奉
 シカレハニコノミチハアガコタケミカツチノカミラベシトマシテツカススナハチタテ
 然於此道者僕子建御雷神可遣乃貢
 マツリキカレアメノトリフネノカミラソヘタケミカツチノカミニテツカシキコハラモテ
 進尔天鳥船神副建御雷神而遣是以
 コノフタハシラノカミクタリツキイヅモノクニノイナサノラバマニテ
 此二神降到出雲國伊那佐之小濱而
 伊那佐三マキテ拔ツカ十掬ツルギヲ劍サカサニサシ逆刺タテ立于浪穗ナミノホニ跌アゲミ
 字以レ音ヲ坐其劍前ツルギノサキニトヒタスクソノ問其大國主神言オホクニマシノカミニ天照大御
 カミタカギノカミノミコトモチテトヒニツカハセリナガウシハ
 神高木神之命以問使之汝之宇志波

ケル此五字アシハラノナカツクニハアガミコノシラ
 祁流以レ音ヲ葦原中國者我御子之所
 サムクニトコトヨサシタヘリカレナガコロイカニゾトヒタラトキニコタヘマツラク
 知國言依賜故汝心奈何尔答白之僕
 ハジエマラサアガコヤヘコトシロマシノカミコレベキマラス
 者不得白我子八重言代主神是可白
 ラシニトリクアソビスナドリユキテホノサキニイマタカヘリコトマラシキ
 然為鳥遊取魚而往御大之前未還来
 カレコニツカシテアメノトリフネノカミラメシキヤヘコトシロマシノカミラ
 故尔遣天鳥船神徵来八重事代主神
 テトヒタマフトキニイヒテソノチノオホカミニカシコレコノクニ
 而問賜之時語其父大神言恐之此國
 ハタテツリタマヘトアツカミノミコニスナハチマミカタラケソノフネラテアマン
 者立奉天神之御子即蹈傾其船而天

逆手矣。於青紫垣打成而隱也。訓紫云
故尔問其大國主神。今汝子事代主神。
如此白訖。亦有可白子乎。於是亦白之。
亦我子有建御名方神。除此者無也。如
此白之間。其建御名方神。干引石擊手
末而來言。誰來我國而忍忍如此物言。
然欲為力競。故我先欲取其御手。故令

取其御手者。即取成立冰。亦取成劍刃。
故尔懼而退居。尔欲取其建御名方神
之手。乞歸而取者。如取若葦。搯拙而投
離者。即逃去。故追往而迫到科野國之
洲羽海。將敦時。建御名方神白。恐莫敦
我。除此地者。不行他處。亦不違我父大
國主神之命。不違八重事代主神之言。

此葦原中國者コノアシハラノナカククニハ。隨天神御子之命マニクアマツカミノミコノミコトノタテマツルミコト獻故サラニマタカヘリキテトヒタマクソノオホクニヌシノカミニナガコドモコトシロ。更且還來問其大國主神マシノカミタケミナガタノカミフタリハ。汝子等事代マニクアマツカミノミコノ主神マシノカミ。建御名方神ミコトノジトタガハマラシマ。二神者フタリハ。隨天神御子マニクアマツカミノミコノ之命ミコトノジトタガハマラシマ。勿違白ナガコノロイカニツトヒタマヒキコニコクヘマツラク。訖故ナガコノロイカニツトヒタマヒキコニコクヘマツラク。汝心ナガコノロイカニツトヒタマヒキコニコクヘマツラク。奈何ナガコノロイカニツトヒタマヒキコニコクヘマツラク。尔荅ナガコノロイカニツトヒタマヒキコニコクヘマツラク。白之ナガコノロイカニツトヒタマヒキコニコクヘマツラク。僕子等アガコドモフタリノマニクマラセルアレモ。二神フタリハ。隨白マニクマラセルアレモ。僕ジ之不違タガハコノアシハラノナカク。此葦原中クニハマニクミコトノスベニタテマツラム。國者タガハ。隨命アガスミカラババナシアマツカミノ。既獻也マニクミコトノスベニタテマツラム。唯僕アガスミカラババナシアマツカミノ。住所者アガスミカラババナシアマツカミノ。如天神アガスミカラババナシアマツカミノ。御子之天津日ミコノアマツヒ。繼所知之ツギシロシメサムト。登ト。陁ダ。流ル。此三此三字以。以此三字以。

效音下此ア天之御マ巢ノ而於底ミ津石根ズ宮柱布テニソコツイハネミヤバシラフ。斗斯理トシリ。此四字此四字。於高天原ニタカマノハラヒギタカシ。冰木多迦斯ヒキタカシ。理リ。多迦斯トカシ。而治賜者テヲサメタマハバ。僕者アハハ。於百不足ニモズタラ。八十ヤソクマ。廻手クマデ。隱而侍カクリテサモラヒタム。亦僕子等アガコドモモヤソクマ。百八十神ヒヤソクマカミ。者ハ。即八重事代ヤハコトシロヌシノカミナリカミノミ。主神ナリカミノミ。為神之御尾ナリカミノミ。前而サキトテ。仕奉者ツカヘマツラバ。違神者メガフカミハ。非也アラシ。如此之白カククマラシテニ。而於出ニイッ。雲國之多藝志モノクニノタギシ。之小濱シノラバマツクリ。造天之御舍アマノミアラカラ。多多。

志三字 而水戸神之孫櫛八玉神為膳
 以音 夫獻天御饗之時禱白而櫛八玉神化
 鷄入海底咋出底之波迹此二字 作天
 八十毗良迦此三字 而鑷海布之柄作
 燧臼以海尊之柄作燧杵而鑽出火云
 是我所燧火者於高天原者神產巢日
 御祖命之登陲流天之新巢之凝烟訓

烟云 之八拳垂摩豆燒舉摩豆二 地下
 州須 者於底津石根燒凝而拷繩之千尋繩
 打追為釣海人之口大之尾翼鱸訓鱸
 受佐和佐和迹此五字 控依騰而打竹
 岐 之登遠遠登遠迹此七字 獻天之真
 魚咋也故建御雷神返參上復奏言向
 和平葦原中國之狀尔天照大御神高

木神^{ギノカミ}之命^{ノミコト}以^{モチテ}詔^{リタマフ}太子^{ヒツギノミコ}正勝^{マサカ}吾勝^{アカツ}勝速^{カチハヤ}日^ビ
 天^{アメノ}忍穗耳^{ホミノ}命^{ノミコト}今^{イマ}平訖^{コトムケラヘヌト}葦原^{アシハラノ}中國^{ナカツケニ}之^{マラスカレ}白^{マラスカレ}故^{マラスカレ}
 随^{マニ}言^{コト}依^{ヨサシ}賜^{タマヘリシクダリマシ}降^テ坐^{シロシメセトリタマヒキコニソノ}而^{ヒツギノ}知^{ミコ}看^{マサカ}尔^{マサカ}其^{ヒツギノ}太子^{ヒツギノ}正勝^{ヒツギノ}
 吾^ア勝^{カツ}勝速^{カチハヤ}日^{ハヤ}天^{アメノ}忍穗耳^{ホミノ}命^{ノミコト}答^{マシタマハク}白^ア僕^ハ者^{ナム}将^{ナム}
 降^{クダリ}装束^{ヨソヒセシ}之^{ホドニ}間^{ミコ}子^{アレマシツ}生^{ミナハ}出^{アメニ}名^ギ天^{クニ}迹^{クニ}岐^{クニ}志^{クニ}國^{クニ}迹^{クニ}
 岐^ギ志^シ自^自迹^迹至^至天津^{アマツ}日^ヒ高^{ダカ}日^ヒ子^コ番^ホ能^ノ迹^ニ迹^ニ
 藝^ギ命^{ノミコト}此^{コノ}子^{ベントシタマヒキ}應^{クダス}降^{コノ}也^{コノ}此^{コノ}御^ミ子^コ者^ハ御^ミ合^{アヒマシテ}高^{タカ}木^ギ

神之^{カミ}女^メ萬^{マン}幡^{マン}豐^フ秋^{アキ}津^ツ師^シ比^ヒ賣^メ命^{ノミコト}生^{ウマセル}子^{ミコ}天^{アメノ}
 火^ホ明^{アカリ}命^{ノミコト}次^{ツギニ}日^ヒ子^コ番^ホ能^ノ迹^ニ迹^ニ藝^ギ命^{ノミコト}是^{コト}是^{コト}
 以^{モテ}随^{マニ}白^{マシタマフ}之^ヲ科^{オホセテ}詔^{ミコト}日^コ子^ホ番^ノ能^ニ迹^ニ迹^ニ藝^ギ命^{ノミコト}此^{コノ}
 豐^{トヨ}葦^{アシ}原^{ハラノ}水^{ミツ}穗^ホ國^{クニ}者^{ニハ}汝^{ミマシ}将^{シラサム}知^{クニナリ}國^{コト}言^{ヨサシ}依^{タマフ}賜^{カレ}故^{カレ}
 随^{マニ}命^{ノミコト}以^{ベシトリタマヒキアマクダリマス}可^{コニ}天^コ降^ホ尔^ノ日^ニ子^ニ番^ニ能^ニ迹^ニ迹^ニ藝^ギ命^{ノミコト}
 将^{スル}天^{アメリ}降^{マサムト}之^{トキニ}時^キ居^{アメノ}天^ノ之^{ヤチ}八^{マタニ}衢^テ而^{カミハ}上^{テラシ}光^{タカ}高^{カマノ}天^ノ
 原^{ハラ}下^{シモ}光^{モテラス}葦^{アシ}原^{ハラノ}中^{ナカツ}國^{クニ}之^{カミ}神^{ノコ}於^コ是^ニ有^{アリ}故^{カレ}尔^{アマ}天^ノ

テラスオホミカミタカギノカミノミコトモ子テノリタマヒキアメノウ
 照大御神高木神之命以詔天宇受賣
 カミニイマシハドモアレタフヤメニトイムカフカミ
 神汝者雖有手弱女人與伊牟迦布神
 自伊至オモカツカミナリカレモハライマシユキテトハマクハアガミ
 布以音モリマサムトミチヲタレジカクテラルトトヘトカレトヒタマフ
 子為天降之道誰如此而居故問賜之
 トキニコタヘマサクアレハクニツカミナハサルダビコノカミナリユ
 時答白僕者國神名獲田毗古神也所
 エイデヲルキツルアマツカミノコアマモリマストユエニツカヘマツムト
 以出居者聞天神御子天降坐故仕奉
 ミサキニシテマキムカヘサモラフツトシタヒキコニアメノコヤネノミコトフ
 御前而參向之侍尔天兒屋命布刀玉

ミコトアメノウズメノミコトイシコリドメノミコトタマノヤノ
 命天宇受賣命伊斯許理度賣命玉祖
 ミコトアハセテイツトモノヲクマリクハヘテアマクタリマサシメタマヒキ
 命并五伴緒矣支加而天降也於是副
 タマヒカノヲキシ此三字ヤサカノマガタマカミミマクサ
 賜其遠岐斯以音八尺勾璫鏡及草
 ナギノツルギマタトコヨノオモヒカネノカミタチカラヲノカミイハ
 那藝劍亦常世思金神手力男神天石
 トワケノカミヲテイリタマヘラクハコレノカミミハモハラシアガミ
 門別神而詔者此之鏡者專為我御魂
 テゴトイツカアガミマヘライツキマツレツギニオモヒカネノカミハトリ
 而如拜吾前伊都岐奉次思金神者取
 モチテミマヘノコトラヨレタメトイタマヒキコノフタハシランカミハイツキマツルサ
 持前事為政此二柱神者拜祭佐久久

斯^シ侶^ロ伊^イ須^ス受^ズ能^ノ宮^{ミヤニ}。
自^レ佐^至音^{ツギニ}次^ト登^ヨ由^ウ宇^ケ氣^ノ。
 神^{カミ}此^コ者^ハ坐^マ外^ト宮^ツ之^{ミヤノ}度^ワ相^タ神^ラ者^ニ也^{ナリ}。
次^{ツギニ}天^{アマノ}石^{イハ}
 戶^ト別^ワ神^ケ亦^マ名^タ謂^シ櫛^{クシ}石^{イハ}窓^{マドノ}神^{カミト}亦^マ名^タ謂^シ豐^{トヨ}石^{イハ}。
 窓^{マドノ}神^{カミト}此^コ神^{カミ}者^ハ御^ミ門^{カド}之^ノ神^{カミナリ}也^{ナリ}。
次^{ツギニ}手^タ力^{チカラ}男^{ヲノ}神^{カミ}
 者^ハ坐^マ佐^サ那^ナ縣^{ガタニ}也^{ナリ}。
故^{カレ}其^{ソノ}天^{アマノ}兒^コ屋^{ヤネ}命^{ミコトハ}者^{ナリ}。
中^{ナカ}臣^{トミ}
 布^フ刀^タ玉^{タマ}命^{ミコトハ}者^{ナリ}。
等^{ナリ}之^ノ部^ベ首^{オビト}天^{アマノ}宇^ウ受^ズ賣^メ命^{ミコトハ}者^{ナリ}。
鏡^{カミ}任^{ツクリ}連^{ムラシ}玉^{タマ}。
 伊^イ斯^シ許^コ理^リ度^ド賣^メ命^{ミコトハ}者^{ナリ}。
等^{ナリ}之^ノ祖^{オヤ}連^{ムラシ}玉^{タマ}。
 祖^{ヤノ}命^{ミコトハ}者^{ナリ}。
玉^{タマ}祖^{ムラシ}連^{ムラシ}故^{カレ}尔^コ詔^ア天^{アマ}津^ツ日^ヒ子^コ番^ホ能^ノ。
迹^ニ迹^ニ藝^ギ命^{ミコト}而^{ハナレ}離^レ天^{アマ}之^ノ石^{イハ}位^{シラ}押^{オシ}分^{ワケ}天^{アマ}之^ノ八^ヤ。
 重^ヘ多^タ那^ナ。
此^コ二^ニ字^ジ雲^{クモ}而^テ伊^イ都^ツ能^チ知^チ和^ワ岐^キ知^チ。
 和^ワ岐^キ互^テ。
自^レ伊^{以下}音^ヲ於^ニ天^{アマノ}浮^{ウキ}槁^{ハシ}宇^ウ岐^キ士^シ摩^マ。
 理^リ蘓^ソ理^リ多^タ斯^ス互^テ。
自^レ宇^{以下}音^ヲ天^{アマ}降^{オリ}坐^{マシキ}。
 于^ツ竺^{ツク}紫^シ日^ヒ向^{ムカ}之^ノ高^{タカ}千^チ穗^ホ之^ノ久^ク士^シ布^フ流^レ多^タ。
 氣^ケ。
自^レ久^{以下}音^ヲ故^{カレ}尔^コ天^{アマ}忍^ニ日^ヒ命^{ミコト}天^{アマ}津^ツ久^ク米^メ。
六^{ロク}字^ジ以^レ音^ヲ

祖^{ヤノ}命^{ミコトハ}者^{ナリ}。
玉^{タマ}祖^{ムラシ}連^{ムラシ}故^{カレ}尔^コ詔^ア天^{アマ}津^ツ日^ヒ子^コ番^ホ能^ノ。
迹^ニ迹^ニ藝^ギ命^{ミコト}而^{ハナレ}離^レ天^{アマ}之^ノ石^{イハ}位^{シラ}押^{オシ}分^{ワケ}天^{アマ}之^ノ八^ヤ。
 重^ヘ多^タ那^ナ。
此^コ二^ニ字^ジ雲^{クモ}而^テ伊^イ都^ツ能^チ知^チ和^ワ岐^キ知^チ。
 和^ワ岐^キ互^テ。
自^レ伊^{以下}音^ヲ於^ニ天^{アマノ}浮^{ウキ}槁^{ハシ}宇^ウ岐^キ士^シ摩^マ。
 理^リ蘓^ソ理^リ多^タ斯^ス互^テ。
自^レ宇^{以下}音^ヲ天^{アマ}降^{オリ}坐^{マシキ}。
 于^ツ竺^{ツク}紫^シ日^ヒ向^{ムカ}之^ノ高^{タカ}千^チ穗^ホ之^ノ久^ク士^シ布^フ流^レ多^タ。
 氣^ケ。
自^レ久^{以下}音^ヲ故^{カレ}尔^コ天^{アマ}忍^ニ日^ヒ命^{ミコト}天^{アマ}津^ツ久^ク米^メ。
六^{ロク}字^ジ以^レ音^ヲ

命二人取負天之石鞞取佩頭推之大
 刀取持天之波士弓手挟天之真鹿兒
 矢立御前而仕奉故其天忍日命此者
 連等天津久米命此者久米直於是詔
 之此地者向韓國真來通笠沙之御前
 而朝日之直刺國夕日之日照國也故
 此地甚吉地詔而於底津石根宮柱布

斗斯理於高天原冰椽多迦斯理而坐
 也故尔詔天宇受賣命此立御前所仕
 奉獲田毗古大神者專所顯申之汝送
 奉亦其神御名者汝負仕奉是以獲女
 君等負其獲田毗古之男神名而女呼
 獲女君之事是也故其獲田毗古神坐
 阿邪訶此三字以時為漁而於比良夫

古事記上

貝カヒ。自レ比ニ至ス。其ソノ手テ見エ咋ク合ア而ハ沈オホ溺レ海ウ塩シ故ホニ。
其ソノ沈シツ居ミ底キ之ノ時トキ名ナ謂イフ底ソコ度ド久ク御ミ魂マト。度タ久ク。
以ソノ其ソノ海ウ水シ之ノ都ツ夫ブ多タ都ツ時トキ名ナ謂イフ都ツ夫ブ多タ。
都ツ御ミ魂マト。自レ都ツ下シ四シ其ソノ阿ア和ワ佐サ久ク時トキ名ナ謂イフ。
阿ア和ワ佐サ久ク御ミ魂マト。自レ阿ア至ス於コ是ニ送オ獲シ田タ毗ビ。
古コ神ノ而テ還マ到リ乃ハ悉ス追ヒ聚メ鰭ハ廣タ物モノ鰭ハ狹サ物モノ。
以ト問フ言ハ汝イ者マシ天アマ神ツカ御ミ子コ仕ツカ奉ヘ耶マツ之ヤト時トキ諸モロ。

魚ウラ皆ト仕モ奉ミ白ナ之ツカ中ヘ海マツ鼠ラム不マ白ラ尔サ天ア宇メ受ウ。
賣メ命ノ謂イフ海コ鼠ノ云ク此コノ口ク乎ヤ不ヌ答コタ之ヘ口ヘ而シテ以モ。
紐ヒ小ガ刀タ拆サ其キ口ク故コト於ケ今イ海マ鼠ノ口ク拆サ也ナリ是コト。
以モ御ミ世ヨ御ミ世ヨ嶋シマ之ノ速ハヤ贄ニ獻ヘ之タテマツル時トキ給タマフ獲サル女メノ。
君キミ等ラ也ナリ於コ是ニ天アマ津ツ日ヒ高ダ日カ子ヒ番ホ能ノ迹ニ迹ニ。
藝ギ能ノ命ノ於ニ笠カ沙サ御ミ前サキ遇ア麗ル美カ人ホ尔ト問ヒ誰タカ。
女メ答コタ白ハク之オホ大ヤマ山ツ津ツ見ミ神カミ之ノ女メ名ナ神カミ阿ア多タ。

都^ツ比^ヒ賣^メ。此^レ神^ノ名^ヲ。亦^モ名^ニ謂^フ木^ノ花^ノ之^ノ佐^ノ久^ク夜^ヤ。
 毗^ビ賣^メ。此^レ五^ノ字^ヲ。又^モ問^フ有^ラ汝^ノ之^ノ兄^ノ弟^乎。答^フ白^ク。
 我^ガ姊^{アネ}石^{イハ}長^{ナガ}比^ヒ賣^メ在^リ也^{ナリ}。亦^モ詔^ス吾^ガ欲^ム目^メ合^フ汝^ニ。
 奈^ニ何^カ答^フ白^ク。僕^ハ不^レ得^ズ白^ク。僕^ハ父^ハ大^キ山^ノ津^ツ見^ミ神^ノ。
 將^シ白^ク。故^ニ乞^フ遣^ハ其^ノ父^ヲ大^キ山^ノ津^ツ見^ミ神^ノ之^ノ時^ト大^キ。
 歡^ム喜^ブ而^{シテ}副^シ其^ノ姊^ヲ石^ノ長^ノ比^ノ賣^ノ。令^シ持^シ百^ノ取^リ机^ヲ。
 代^リ之^ノ物^ヲ奉^ル出^ス。故^ニ尔^ノ其^ノ姊^者因^リ甚^ク凶^ク醜^ク見^ル。

畏^{カシ}而^{シテ}返^シ送^ル。唯^ニ留^ル其^ノ弟^ヲ木^ノ花^ノ之^ノ佐^ノ久^ク夜^ヤ。
 賣^ル以^テ一^宿為^シ婚^ス。尔^ハ大^キ山^ノ津^ツ見^ミ神^ノ。因^リ返^シ石^ノ。
 長^ク比^ビ賣^メ而^{シテ}大^キ恥^シ。白^ク送^ル言^フ我^ガ之^ノ女^ニ並^ビ立^テ。
 奉^ル由^リ者^ヲ。使^シ石^ノ長^ノ比^ノ賣^ノ者^ヲ天^ノ神^ノ御^ノ子^ノ之^ノ命^ヲ。
 雖^シ雪^ノ零^リ風^ノ吹^ク。恒^ク如^シ石^ノ而^{シテ}常^ク堅^ク不^レ動^ス。坐^シ亦^モ。
 使^シ木^ノ花^ノ之^ノ佐^ノ久^ク夜^ヤ毗^ビ賣^メ者^ヲ如^シ木^ノ花^ノ之^ノ榮^ル。
 榮^ル坐^シ宇^ノ氣^ノ比^ビ互^ニ。自^ラ宇^ノ下^ニ四^ノ貢^ル進^ル。此^レ令^シ返^ル。

石長比賣而獨留木花之佐久夜毗賣
イハナガヒメマツテヒトリメタマハシコノハナノサクヤビメ
 故天神御子之御壽者木花之阿摩比
アマツカミノミコノイノチハコノハナノアママヒ
 能微此五字坐故是以至于今天皇命
ミミ此五字イノチハコノハナノイタルマデイマニスメラミコト
 等之御命不長也故後木花之佐久夜
タチノミコイノチハコノハナノサクヤ
 毗賣參出白妾妊身今臨產時是天神
ビメマキテマツレタスクアレハラメルヲイマナリヌコウムキトキニコノアマツカミ
 之御子私不可產故請尔詔佐久夜毗
ノミコワタクシニアラズベキニウミマツルカレイマナリタマヒクニノリタマヒクサクヤ
 賣一宿我妊是非我子必國神之子尔
メヒトヨニヤハラメルソハアラシイマミコニカナラスクニツカミノコトツアラメトリタマフ

答白吾妊之子若國神之子者產時不
マラシテアカハラメルミコモシクニツカミノコナラムニウムトキ
 幸若天神之御子者幸即任無戸八尋
サキカラモシアマツカミノコニマサバサキカラムトツクリテナキトヤヒロ
 殿入其殿内以土塗塞而方產時以火
トノライリマシテソノヌチニモテハニマリフタギテアタリテウマストキニヒラ
 着其殿而產也故其火盛燒時所生之
ツケソノトニテナモウマシケルソノヒノサカリニモユルトキニアレマセル
 子名火照命此者隼人阿次生子名火
ミコミナハホデリノ多ク君之祖ツギニアレセルミコミナハホ
 須勢理命須勢理三次生子御名火遠
スセリノミコト字以レ音ヲツギニアレセルミコミナハホ
 理命亦名天津日高日子穗穗手見命
リノミコトマツミナハアマツツヒダカヒコホホデミノミコト

三 故火照命者為海佐知毗古此四字
 柱 而取鱈廣物鱈狹物火遠理命者為以音下
 此 山佐知毗古而取毛麁物毛柔物尔火
 遠理命謂其兄火照命各相易佐知欲
 用三度雖乞不許然遂纔得相易尔火
 遠理命以海佐知釣魚都不得一魚亦
 其鈎失海於是其兄火照命乞其鈎曰

山佐知母己之佐知佐知海佐知母己
 之佐知佐知今各謂返佐知之時佐知
 以 其弟火遠理命答曰汝鈎者鈎魚不
 音 得一魚遂失海然其兄強乞徵故其弟
 破御佩之十拳劔任五百鈎雖償不取
 亦任一千鈎雖償不受云猶欲得其正
 本鈎於是其弟泣患居海邊之時塩椎

神來問曰。何虛空津日高之泣患所由。
答言。我與兄易鉤而失其鉤。是乞其鉤。
故雖償多鉤。不受云。猶欲得其本鉤。故
泣患之。尔塩椎神云。我為汝命。任善議。
即造无間勝間之小船。載其船以教曰。
我押派其船者。差暫往。將有味御路。乃
乘其道往者。如魚鱗所造之宮室。其綿

津見神之宮者也。到其神御門者。傍之
井上有湯津香木。故坐其木上者。其海
神之女見相議者也。訓香木云。故隨教。
小行。備如其言。即登其香木以坐。尔海
神之女。豐玉毗賣之從婢。持玉器。將酌
水之時。於井有光。仰見者。有麗壯夫。訓
夫云。遠登。以為甚異奇。尔火遠理命見
古下效。此。

古事記上

七十一

其婢乞欲得水。婢乃酌水入玉器。貢進。
 ソノヲミナラコヒタテヨトエシメミツラマカチスナハチクミテミツライレタタモヒニタテマツリキ

尔不飲水。解御頸之璵。含口。唾入其玉。
 コ、ニズシテノミタハミツラバトカシテミクビノタマラフミテクチニツキイレタヒキソノタマモヒニコ、ニソノタマイツキテモヒニマカチズエハナタタマラカレオカラツケ

器。於是其璵著器。婢不得離璵。故任著。
 タテマツリキトヨタマビメノミコトニカレミテソノタマラトヒタハカチナモシ

以進。豐玉毗賣命。尔見其璵。問婢曰。若
 ヒトアリカドノトニヤトマラシキヒトイマスアガキノベノカツラノ

人有門外。我答曰。有人坐我井上。香木
 ウヘニイトウレハシキヲトコニスマヤリアガキミニモテイトタフトシカレソノ

之上。甚麗壯夫也。益我王而甚貴。故其
 ヒトコハセルミツラユエニタテマツリシカバズテノマサミツラバツキイレタハルコノタマラナセコレ

人乞水。故奉水者不飲水。唾入此璵。是
 ヒトコハセルミツラユエニタテマツリシカバズテノマサミツラバツキイレタハルコノタマラナセコレ

不得離故。任入将来而獻。尔豐玉毗賣
 ヌエハナタユエニオカライレモチマキキテタテマツリヌトカレトヨタマビメノ

命。思奇出見。乃見感。目合而白其父曰。
 ミコトオモホシテアヤシトイデミテスナチミメデ、マダハヒシテマラシタヒキソノチ、ニ

吾門有麗人。尔海神自出見。云此人者
 アガカドニイマスウルハシキヒトコ、ニワタノカミミツカライデミテイヒテコノヒトハ

天津日高之御子。虚空津日高矣。即於
 アマツツヒダカノミコソラツツヒダカニセリ。スナチニ

内率入而。美智皮之疊。敷八重。亦絶疊。
 ウチキテイリテ、ミチカハノタ、ミシキヤヘラマダキヌダミ

八重敷其上。坐其上。而具百取机代物。
 ヤヘラシキテソノウヘニセマツリソノウヘニテソナテモ、トリノツクエシロノモノラ

為御饗。即令婚其女。豐玉毗賣。故至三
 シテミアヘスナチセツキアハソノミヌタトヨタマビメラカレマデミ

年住其國於是火遠理命思其初事而
 大一歎故豐玉毗賣命聞其歎以白其
 父言三年雖住恒無歎今夜為大一歎
 若有何由故其父大神問其賀夫曰今
 旦聞我女之語云三年雖坐恒無歎今
 夜為大一歎若有由我亦到此間之由奈
 何尔語其大神備如其兄罰失鉤之狀

是以海神悉召集海之大小魚問曰若
 有取此鉤魚乎故諸魚白之頃者赤海
 鯽魚於喉鯽物不得食愁言故必是取
 於是探赤海鯽魚之喉者有鉤即取出
 而清洗奉火遠理命之時其綿津見大
 神誨曰之以此鉤給其兄時言狀者此
 鉤者淤煩鉤須須鉤貧鉤宇流鉤云而

於後手賜シリヘデタマヘ。於煩及須湏亦シカシテソノイロセツクラ。然而其兄任アゲタラバナガミコトハツクリタヘクボタラソノイロセツクラクボタラバナガ。
 高田者汝命營下田其兄任下田者汝ミコトハツクリタヘアゲタラシタヘシカバアレシレバミツラバミトセノアエダ。
 命營高田為然者吾掌水故三年之間カナラズソノイロセツクリナリナムモシウラミソレシタヘフシカコトラテセ。
 必其兄貧窮若恨怨其為然之事而攻メナババイダシシホミツタマラテオボラシモシソレウレヒマラサバイダシシホ。
 戰者出塩盈珠而溺若其愁請者出塩ヒルタマラテイカシカクシテタシナメタマヘトマラシテサツケツツシホミツタマ。
 乾珠而活如此令慙苦云授塩盈珠塩ヒルタマアセテフタツラスナチコトビニヨビアツメテワニドモラトヒタマハクイマ。
 乾珠并兩箇即悉召集和迹魚問曰今ヒルタマアセテフタツラスナチコトビニヨビアツメテワニドモラトヒタマハクイマ。

天津日高之御子虚空津日高為將出アマツヒダカノミコソラツヒダカスムトイデ。
 幸上國誰者幾日送奉而覆奏故各隨マサウハツクニタレハイクカニオクリマツリテカハリトマサムトヒタモキカレオノモクマニ。
 己身之尋長限日而白之中一尋和迹オノガミノナガサノカギリヒラテマラスナカニヒトヒロワニ。
 白僕者一日送即還來故尔告其一尋マラスワレハヒトヒニオクリマツリテカヘリキナムトカレイリテソノヒトヒロ。
 和迹然者汝送奉若渡海中時無令惶ワニシカラバナレオクリマツリテヨモシワタルワタナカラトキニナカシコセマツリ。
 畏即載其和迹之頸送出故如期一日ソトスナチセマツリテソノワニクビニオクリダシマツリキカレゴトイヒシガヒトヒ。
 之内送奉也其和迹將返之時解所佩ノウチニオクリマツリキソノワニナムトセシカヘリトキニトカシテミハカセル。

之紐小刀著其頸而返故其一尋和迹
者於今謂佐比持神也是以備如海神
之教言與其鉤故自尔以後稍俞貧更
起荒心迫來將攻之時出塩盈珠而令
溺其愁請者出塩乾珠而救如此令愧
苦之時稽首白僕者自今以後為汝命
之晝夜守護人而仕奉故至今其溺時

之種種之態不絶仕奉也於是海神之
女豐玉毗賣命自糸出白之妾已妊身
今臨産時此念天神之御子不可生海
原故糸出到也尔即於其海邊波限以
鷄羽為葺草造産殿於是其産殿未葺
合不忍御腹之急故入坐産殿尔将方
産之時白其日子言凡他國人者臨産

フリニナリテモモトツクニノカタチニウムナルカレアレモイマナリテモトノミニス
 時以本國之形產生故妾今以本身為
 産願勿見妾於是思竒其言竊伺其方
 産者化八尋和迹而匍匐委蛇即見驚
 畏而遁退尔豐玉毗賣命知其伺見之
 事以為心恥乃生置其御子而白妾恒
 通海道欲往來然伺見吾形是甚恠之
 即塞海坂而返入是以名其所産之御

コノマラスアマツヒダカヒコナギサタケウガヤフキ
 子謂天津日高日子波限建鷦草葺不
 合命訓波限云那藝然後者雖恨其伺
 情不忍戀心因治養其御子之縁附其
 弟玉依毗賣而獻歌之其歌曰阿加陀
 麻波表佐閑比迦礼杼斯良多麻能岐
 美何余曾比斯多布斗久阿理祁理尔
 其比古遲三字答歌曰意岐都登理加

古事記上

七十六

毛度久斯麻迹和賀韋泥斯伊毛波和
 須礼士余能許登碁登迹故日子穗穗
 手見命者坐高千穗宮伍佰捌拾歲御
 陵者即在其高千穗山之西也是天津
 日高日子波限建鷦草骨不合命娶其
 姨玉依毗賣命生御子名五瀬命次稻
 冰命次御毛沼命次若御毛沼命亦名

豐御毛沼命亦名神倭伊波禮毗古命
 故御毛沼命者跳波穗渡坐于常世
 國稻冰命者為妣國而入坐海原也

古事記上卷

Vertical text within a rectangular border on the right page, likely bleed-through from the reverse side. The text is arranged in columns and is mostly illegible due to fading and bleed-through.

